新京日日新聞
夕刊
十一月二十九日
本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓 郵税 一ヶ月拾五錢
廣告料金 普通一行 壹圓五拾錢 特別一行 貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用（3）三二二〇 營業局專用（3）三二〇五
發行人 十河榮忠　編輯人 松本勇　印刷人 水越内之介

江陰、常州放棄の外なく
南京攻略第三期戰へ
常州完全占領は時間の問題

【無錫廿八日發國通】わが常州突入に依り江陰要害の敵陣はつひに孤立に陷るに至つたが、これにより敵が南京防備の第二線陣地とたのむ江陰、常州の線はつひに全面的放棄のやむなきに至るものとみられ、こゝにいよ〳〵南京攻略の第三期戰が展開されることになつた

【無錫廿八日發國通】常州城壁の一角を占據したわが軍は、雪崩れをうつて城内に殺到街區を蹴つて激烈な市街戰を展開してゐるが、常州城内に蟠居する敵は蘇州、常熟、無錫より敗退せる一部軍隊と劉湘の四川軍で、街路及びクリークに據つて最後の抵抗を續けてゐるが、敵將兵の大部分はすでに浮足立ち、常州城内の完全占領は最早時間の問題となつた

二十九日朝、宜興を占據

【上海廿九日發國通】わが軍はけふ午前九時太湖西方の宜興縣城を占據した

【吳興廿八日發國通】激戰の後斗山の敵陣地を拔いた千葉、山田等の各部隊は、廿八日夕刻敗走する敵を追つて宜興市街に肉薄、同市南方を流れるクリークを狹んで交戰のまゝ夜に入つた、宜興城の敵は動搖の色あり、同城の占領は短時間の後に迫つてゐる

江陰攻擊の火蓋を切る

【無錫廿八日發國通至急報】田代、兩角、添田、倉林の諸部隊は堂々たる陣形をもつて南澤鎭方面より進擊、江陰縣城に向つて陸正面より薄し、廿八日午後六時その前衞部隊は縣城を距る南方一キロの線に達し攻擊の火蓋を切つた

常州の敵背後を衝く

【無錫廿八日發國通】常州城壁の一角を占據したわが部隊の一部は、時を移さず城内に突入すると共に一部は城壁を迂回して敵の背後を衝きさらに京滬鐵路及び大運河に沿ひ進擊の態勢を整へてゐる

わが各部隊常州城内に殺到

【無錫廿八日發國通至急報】京滬鐵路及び大運河に沿うて南京に向け進擊中の片桐、大野、野田、助川等の各部隊は、廿八日夕刻常州城々壁に達し激戰數刻の後つひに城内に殺到、猛烈なる市街戰を交へつゝある

上海の電報局、放送局接收

【上海廿九日發國通】交通部上海電報局は二十八日午後四時半わが方によつて接收され上海と上海以外の支那領土との通信連絡は完全に遮斷され、これと同時に交通部のXQHC放送局もわが手に接收されるところとなり、上海戰以來の抗日宣傳の本據も遂に閉鎖された

各地戰況〔十九日朝まで〕

▲上海方面　南京に向け進擊中の片桐、大野、助川、野田各部隊は廿八日午後六時京滬線の要害武進（常州）城内に突入し終夜壯絶なる市街戰を展開城兵の大部分は算を亂して西方丹陽方面に潰走中である、一方揚子江岸に堅固を誇る江陰砲臺に向つて堂々陸正面より肉薄した田代、兩角、添田、倉林の各部隊も廿八日夕刻江陰城壁に到達目下激戰中であるが、皇軍の武進突入により同砲臺はつひに孤立となつた太湖南方進擊の千葉、山田各部隊も廿八日夕刻宜興市街に肉薄、夜を徹して激戰中であるが、太湖を横斷して沙塘口に上陸したわが大部隊も宜興の背面に迫り、東氿、西氿兩湖を兩翼に天險をたのんで難攻不落を誇つた宜興陣地の陷落迫る海の荒鷲部隊も終日丹陽、金壇、溧陽の敵陣に猛爆を加へ渡洋航空部隊も長驅寒風を衝いて廣德の敵陣上空に飛來し、大型爆彈の洗禮を加へて完膚なきまでにこれを痛擊南京防衞の前衞晝く潰えんとす

▲山西方面　同蒲線を南下して山西軍を追擊南下中の皇軍は目下靈石附近に到達、島谷部隊の精鋭は廿八日午前十一時卅分臨汾を空襲、敵陣に猛爆を加へてこれを粉碎、全機悠々歸還した

▲津浦線方面　濟南城内外の敵は連日のわが空爆に全く士氣沮喪し、退却兵と負傷兵の後送で大混亂を呈し、韓復榘陣頭に立つての督戰も甲斐なく黃河南岸の陣地は大動搖を來してゐる、わが空軍の爆擊により黃河を舟艇によつて退却中爆沈せられたるもの數知れず、濟南城の運命いよ〳〵旦夕にせまり皇軍將士の意氣いよ〳〵あがる

社大黨使節の兩氏 軍司令官を訪問
―黨決議の感謝文を手交―

今次事變の第一線に一死報國東洋和平のため奮鬪する皇軍將兵に對する感謝は擧國一致涙ぐましい程であるが、社會大衆黨麻生、田原兩代議士は去る十一月十五日東京本部に於て決議された感謝文を携へて來京、廿九日午前十一時關東軍司令部を訪れ黨を代表して軍司令官に手交し併せて參謀長その他に感謝の意を表した（寫眞は軍司令官と會見の兩氏）

最前線部隊へ 空から勅語を謹送

【上海廿八日發國通】湖沼山野の彼方遠く奮戰を續けてゐる皇軍最前線部隊に對し畏くも上海戰線將兵に賜つた勅語を空より謹送することゝなり、この重任を擔つた陸軍部隊河村、大山兩大尉は、廿八日午後〇〇基地を出發〇〇戰線に達し重大任務を完了した

粤漢線方面を連續空襲す

【香港廿九日發國通】廿七日正午過ぎから開始されたわが海軍航空部隊の粤漢線等の交通線要衝の爆破は〇〇〇機の精鋭をもつて敢行され、廣東の東南方各地に甚大なる損害を與へ、更に粤漢線は黃石、黎洞、逋江口など各驛を徹底的に破壞した、これがため各線とも列車運行は停止されてをり、また廣東―香港間の長距離電話は不通となつた、わが海軍機の連續的空襲は廿八日も敢行された

常州

【上海廿八日發國通】常州（武進縣城）は人口八萬を有し蘇州、無錫、鎭江等と並び稱せられ、京滬鐵路上の要衝である、生糸、紡績、織布、製油等の工業漸次盛んとなり、江陰、金壇、宜興等を結ぶ航路の完成によつて、近時は軍事的にも重要據點と看做されてゐる

江陰要塞

【上海廿八日發國通】江陰縣城は揚子江右岸に北面して構築された要塞と共に、揚子江防衞の最大關門である、江岸には黃山、東山、西山、鵞山の四砲臺が筒先を揃へて水面を睥睨、縣城南方には定山、花山等の山嶽を利用して堅固な背面防備を施してゐる、この要塞を守る指揮官は六年前吳淞砲臺を防備して昨年八月廿四日の北海事件の責任者たる舊十九路軍の梟雄翁照垣である、同所は南京の咽喉を扼する要害であるだけに敵も精魂を盡して死守せんとしてゐるので激戰が豫想されてゐる

海軍航空隊大擧 安徽、廣東兩省を猛爆

【上海廿八日發國通】海軍航空隊は二十八日正午大擧して安徽省、廣東省内各驛を襲擊したが、安徽省内においては津浦線沿線において停車中の貨車十數輛に爆彈の雨を降らせ、全彈悉く命中火災を起さしめ、さらに泗縣より靈璧に通ずる道路を進擊中の約一千の敵軍を發見、隼の如くこれを襲ひ馬車百臺、トラック百臺をはじめ同部隊に潰滅的爆擊を行つた、また廣東省においては通江口驛を襲ひ構内の貨車、機關車等に徹底的爆擊を敢行した

山西の臨汾爆擊

【天津廿八日發國通】わが島谷部隊の精鋭機は二十八日午前〇〇基地を出動、朝靄をついて十一時三十分山西省の臨汾上空にその勇姿を現し、敵根據地に巨彈の雨を降らせ、敵に多大の損害を與へて潰亂せしめた

隣家の敵兵三百を爆藥で木ッ葉微塵
工兵隊の敗殘兵掃蕩

【上海廿八日發國通】わが軍の進擊の合間に取殘された敵の敗殘兵は、飢と寒さに慄へながら江南の曠野を到る所さまよひ歩いてゐるがわが掃蕩隊は困苦よくこれを清掃しつゝ一歩々々平和鄉建設に餘念がない、特に工兵隊の活躍の如きは戰鬪區域が湖沼地帶であるためその架橋作業に至つては實に涙ぐましいものがあり、幾多の美談を生んでゐるが、崑山、蘇州間約四十キロの道路に架けられた四十五の橋梁は悉く敵に破壞し盡されてゐるので、工兵隊は晝夜兼行の架橋作業に忙殺されてゐるが、唯亭附近の架橋作業中梅田部隊が交替して部落の宿舍に入つたところ隣の家屋が馬鹿に騷々しいので「變だぞ」といひながらもその儘一夜を明した、翌早曉一兵士が兵舍の窓からヒョイと隣りをのぞくと物すごい多數の兵士がウヨウヨしてゐる、それつとばかりに部隊長に報告する、そこは工兵隊のお手のもの、爆藥とダイナマイトが直ちに集められた、全員持てるだけ持つて忍び足でぐるりと家屋を取卷いてしまつた未だ敵が氣付かない、絶好のチャンスだ、隊長の「ワン・ツー・スリー」の掛聲と共に一齊に爆藥とダイナマイトを窓といふ窓から叩きこんだ、その物凄い大音響が曉の闇を破ると敵の阿鼻叫喚が起つた必殺のなぐりこみだ、五分、十分敵兵は家屋諸共木ッ葉微塵に吹飛んだ、後で調査の結果敵は約三百で一人殘らず文字通り潰滅したわけで上陸以來こんな面白いことは無かつたと勇士の面々は喜んでゐた

日滿經濟共同委員會 貿易統制策可決

日滿經濟共同委員會第十五回會議は二十九日關東軍司令部に於いて開催せられ、東條次長以下各委員出席、滿洲國政府より諮問のあつた滿洲國貿易統制方策要綱を審議の結果原案の事項然る可き旨答申することを決議した

宋子文マニラへ

【上海廿八日發國通】上海を脱出した宋子文は香港に到着後更に外國船に投じて廿七日比島のマニラに到着したことが判明した、政府系四銀行の漢口移轉と共に經濟委員會常務委員たる宋子文が外國に逃避したことは頗る注目される

獻金額二百六十萬圓突破

【京城國通】日支事變勃發以來半島民の銃後の護りは日を逐うてます〳〵熾烈となつてゐるが、軍愛國部に獻納された額は實に二百六十二萬三千四百廿六圓六十一錢に上りこの赤誠には關係當局を感激させてゐる

朝鮮防空器材費二、四四七五二圓三七、皇軍慰問金一六三、三〇六圓八七、その他一一、六〇七圓三七、計二、六二三、四二六圓六一

水陸兩用の大飛行場 東京市に新設

【東京國通】わが海陸荒鷲の活躍によつて飛行機に對する國民の關心は彌が上にも昂められてゐるが、皇紀二千六百年東京奠都七十年市政發布五十年の一大記念事業として東京市に世界に誇る水陸兩用の國際大飛行場建設の計畫が進められてゐる、飛行場豫定地は大體東京港に臨む現在の博覽會會場豫定地に隣接、荒川放水路の東京灣に注ぐ一帶四十萬方坪を埋立て荒川放水路をも利用して水陸兩方面に最も進歩した設備を施さうといふのである、都心よりは僅かに六キロ、自動車で約十五分の近距離にあり設備と利便で世界一を誇る大ベルリン市の中央に位するテンプルホーフ飛行場にも優るものであつて完成の曉には羽田の二倍半、チャイナクリッパー級の大型機も悠々着水が出來將來は更にこの外に二十萬坪の埋立てを行つて市營飛行學校、氣象觀測所、修繕工場、格納庫などに充てる方針で遞信省並びに帝國飛行協會でも大いに力を入れてゐる

英領海峽植民地 排日教科書の使用を禁止

【シンガポール二十八日發國通】英領海峽植民地總督は今回華僑の學校で使用されてゐる八十三種の支那語教科書の使用を禁止した、現在海峽植民地には約八十萬の華僑が在住しその子弟は國民政府の方針に基き教科書によつて極端なる抗日教育を受けてゐる模樣だがその使用が禁止されたことは時局柄英植民地當局の意向を示すものとして注目されてゐる

藤島元署長等 夫々任地へ

元新京署長警視藤島宣法氏は午前八時發『ひかり』で安東へ、關東局警務部高等課檢閱出版係主任空閑俊範警部は午前十時半發で吉林へ、開原署榮轉の新京署田中一男警部、西本忠警部は午前十時半發で開原へそれ〴〵官民多數の見送裡に出發赴任した

人事往來

着京

▲米本壽夫氏（錦州鐵路局）廿八日來京ヤマトホテル
▲内田享氏（官吏）同
▲荒木國藏氏（會社員）同
▲稻向早苗氏（同）同
▲林四郎兵衞氏（同）同
▲渡邊文平氏（同）同
▲山本繁雄氏（同）同
▲菅要助氏（同）同
▲峰瀨太郎氏（同）同
▲太田誠氏（同）同
▲小林宏一氏（同）同
▲磯部檢三氏（醫師）同國都ホテル
▲鈴木啓正氏（鐵工業）同
▲内藤十郎氏（滿洲製糖）同
▲林修三氏（鑛業）同
▲吉良文二氏（官吏）同向陽ホテル
▲三上宗次郎氏（會社員）同中央ホテル
▲神勇氏（建築業）同都ホテル
▲田中小一氏（會社員）同國際ホテル
▲園田亮爾氏（龍井領事館）同
▲森安吉氏（官吏）同富士屋旅館
▲若山七三郎氏（鐵道總局）同

出發

▲古屋克正氏 廿八日圖們へ
▲大島鴻三氏 奉天へ
▲牧野喜太郎氏 同
▲田子富彥氏 同
▲川村博氏 龍井へ
▲永井康策氏 哈市へ
▲富田眞次郎氏 同
▲信田一男氏 釜山へ
▲金子喜代太氏 吉林へ
▲兒玉國雄氏 同
▲伊藤荘之助氏 京城へ
▲川西豐藏氏 錦州へ
▲田中荘太郎氏 齊々哈爾へ
▲岩谷宗隆氏 奉天へ
▲中井義雄氏 鞍山へ
▲菅原恒男氏 大連へ
▲栗本秀顯氏 牡丹江へ
▲山本盛正氏 奉天へ
▲廣瀨德費氏 安東へ
▲森岡正平氏 奉天へ
▲立川巖介氏 哈市へ
▲渡邊源吉氏 同

その日く

□ 着々として戰果成る、中部支那まさに收穫の秋とも言ふべきか

□ 最後の關頭は何處へ行つたやら、戰運非にして兵も匪となつて行く

□ 變名大使あたりに、時運轉換の策を授けて貰ふにも時既に遲からう

□ 三十年の歷史へのピリオッド、同時に新しい飛躍への據點となれ

□ 終るもの斯くの如し、その後に來るものにこそ期待と信頼と相懸る

滿鐵新京支社の廢廳式

あす西廣場クラブで

轉出社員訣別式も同時擧行

輝しきフィナーレ

三十餘年に亘る地方行政の輝やかしき歴史の幕を閉ぢる滿鐵地方部廢廳式は二十七日大連滿鐵本社に於て擧行されたが新京支社廢廳式並に轉出社員訣別式は三十日午前十時から新京西廣場滿鐵社員倶樂部で擧行することゝなり式次第は左の如く決定した

△地方課廢廳式（三十日午前十時西廣場倶樂部）（一）開式の辭（本島庶務係長）（二）國旗・社旗に對し敬禮（三）國歌社歌齊唱（ブラスバンド伴奏）（四）公職者並地方部社員物故者に對し默禱（三十秒）（五）式辭（村田地方課長）（六）公職者に對する感謝の辭（山口支社長）（七）全權大使感謝の辭（山口支社長代讀）（八）地方委員會議長惜別の辭（得丸副議長代讀）（九）聯合町內會長惜別の辭（早川西廣場町內會長代讀）（一〇）來賓挨拶（一一）開宴（總領事代理）（一二）萬歳三唱（大日本帝國山口支社長、南滿洲鐵道株式會社徐特別市長）（一三）閉式の辭（本島庶務係長）

△轉出社員訣別式（三十日午後一時西廣場倶樂部）（一）開會の辭（村田庶務課長）（二）國旗社旗社員會旗に敬禮（三）國歌社歌齊唱（ブラスバンド伴奏）（四）地方部社員物故者に對し默禱（卅秒）（五）總裁訓示（山口支社長代讀）（六）社員會幹事長惜別の辭（社員會中島幹事代讀）（七）支社長惜別の辭（八）社員會聯合會長惜別の辭（村田聯合會長）（九）社友會代表挨拶（河本大作）（一〇）轉出社員挨拶（關屋悌藏）（一一）分會旗返納（一二）開宴（冷酒にスルメ）（一三）萬歳三唱（大日本帝國山口支社長南滿洲鐵道濱田鐵道課長、滿鐵社員會瀨川順平、轉出社員稻川社員會幹事）（一四）閉會の辭（本島庶務部長）

新京地方委員會

あす解散式擧行

物故委員の慰靈祭も行ふ

廿餘年間滿鐵地方行政の諮問機關として幾多功績をのこした地方委員會もいよいよ十一月卅日限り解消することゝなるので新京區地方委員會では卅日午後二時半から滿鐵新京支社大會議室で物故委員の慰靈祭並に地方委員會の解散式を擧行することになつた、物故地方委員は左の如くである

▲赤木槌右衛門（新京三笠町）▲沼田勇（岡山縣）▲稻田琢磨（福岡市）▲丸山直助（新京羽衣町）▲山本八十四郎（新京吉野町）▲手塚堀幹（新京祝町）▲豐次郎（京城西大門）

中銀宿舍の小火

廿八日午後七時二十分頃特別市北大街中央銀行宿舍炊事場から發火周圍の壁に燃え移り大事に至らんとしたが日滿消防隊の活動に同四十五分鎭火した、損害は僅少原因は煙突の不完全によるものであつた

列車衝突事件の犧牲者

その後判明せる分

京白線萬寶山華家間における列車衝突事件の滿人死亡者中その後判明せるもの次の通り

長春縣范家屯警士 刻煥國（二五）
長春縣警士 曹承志（二六）
長春縣萬家屯 于輔國（二四）
河南省項縣高宗村農 孫振邦（四八）
吉林省永吉縣立耀家屯初級小學校教員 王維漢（二一）
哈拉海楡樹挖子一六甲農 郭長秀（二九）
河南省脊高宗村農 霍生堂（二八）

天津へ女軍 大擧殺到

明朗北支へ大擧進軍する女群が廿八日入港の鴨綠丸で賑やかに來連した、一行は大阪丸玉キャバレー女主人橋高梅さんに率ゐられた女中、ダンサー、バンドボーイの第一班百名で天津第一を誇らうとする天津會館行きの男女混合軍で同會館では女中百名を擁して開館しやうとするもので先般大連で募集した女中、ダンサー約五十名とともに廿八日午後四時出帆の天津丸で赴津したが、引續き第二班も近く渡支しやうといふ豪勢、大邊經由としては珍らしい船客で、埠頭は時ならぬ女群風景を呈した

彈雨降る蘇州河に飛込み 敵軍用船を鹵獲

裸の兩勇士に賞詞を授與

【蘇州廿八日發國通】進擊する部隊を追つて崑山、蘇州間の水路の便を利用してよく前線の部隊に輸軍の任務を果した三田村部隊に聞くも勇敢無比な二勇士が居り、このほど三田村部隊長から賞詞を授與された

この主人公は金澤市笹下町三ノ六荒間亮二特務二等兵と同市東岩瀨町織田豐次郎特務二等兵である

去る十一月十七日のことであつた、崑山を棄てゝ蘇州方面に潰走した敵の大軍は途中蘇州に至る橋といふ橋は全部燒却したゝめ前線への輸送は陸路では全く不可能の狀態に陷つてしまつた、この時「水路を利用せよ」との部隊長の命令が下つた、崑山南方約三キロの祝家村附近の蘇州河に逃げ惑ふ敵軍用船を發見宮谷內隊長は「誰か泳ぎに自信ある者はあれを鹵獲して來い」と命じたところ「ハイ」と答へて飛出したのは荒間、織田の二勇士だ「二人で大丈夫か敵が乘つてゐるし對岸からも彈丸が飛んで來るぞ」「大丈夫であります、必らず仕止めて參ります」と二勇士は返事もそこそこに靴を脫ぎ上衣、ズボンをかなぐり捨てゝ下着は着けた儘肌を切るやうな寒風に裸一貫ざんぶとばかり河中に飛込んで約百米離れた船へ向つて見事な拔手を切つて前方五十米迄迫るや敵はこの豪膽さに恐れ船を捨てゝ逃げ去つたが對岸の殘敵が銃口を揃へて一齊に掃射を浴せかけてきた、併し二勇士はまるで機械の如く悠々迫り遂に艫のロープを握ると確り身體に結びつけて戾つて來た、味方の部隊はどつと歡聲を擧げた、船にはトーチカの支柱やその他の支柱及び軍馬の糞などが殘つて居る、相當に活動して居た軍用船だつた、「よくやつて呉れた、有難う」部隊長は兩勇士の手を固く握りしめた、あの彈丸の中で無傷で重責を果した兩勇士の眼も感激にふるへて居た

この報告を受けた三田村部隊長も譽れの兩勇士に對し廿七日左の賞詞を授與したのであつた

十一月十七日宮谷內隊長指揮の下に支那運送船蒐集中崑山南方約三粁祝家村附近にて積載力十數トンの支那運送船を發見これが占領を命ぜられるや折柄之を發見せる敵敗殘兵數名の猛射をものともせず率先勇躍河中に飛込み、これを占領せりこれにより部隊の水路輸送を容易にし、もつて○○部隊の追擊に伴ふ補給に貢獻せしこと甚大なり、その行爲は任務に忠實勇敢にして犧牲的精神を發揮せるものにして他兵の模範とするに足る、仍つて賞詞す

緒形 上野 兩勇士の最期

四ケ月後漸く判明

【天津廿八日發國通】去る八月九日保定の敵陣地爆擊のため愛機を操縱して○○基地を勇躍出動したまゝ遂に行方不明となつたわが陸の荒鷲柴田部隊の緒形京二少佐、上野龍太郎中尉兩勇士の遺骨がはからずも四ケ月後の去る十日中間地區掃蕩中の筒井部隊によつて發見され、兩勇士の壯烈無比な戰死の狀況が判明した

緒形少佐を乘せ八月九日折柄上野中尉の操縱する○○機は○○上空の密雲を衝いて○○上空に現れ鵬翼を張つて縱橫無盡敵陣地に向つて猛爆を加へ、敵に大損害を與へまさに歸還につかんとした際ガソリンパイプが破裂してエンジンが利かなく、不時着のやむなきに至つた、その時砂塵をあげて南方に退却しつゝある二十九軍の騎兵の一隊があつた、不時着すれば敵の重圍に陷るのは火を見るより明かだ「よし飛行機諸共突擊だ」とばかり俄かに機首を地上に向けた兩勇士は眞逆樣に肉彈となつて右往左往逃げ惑ふ騎兵部隊の眞只中に突入、人馬を宙に跳飛ばして飛行機は大破、兩勇士は壯烈な戰死を遂げたのであつた、なほ部落民の語り傳へるところによれば緒形少佐のポケットの中には紙切れに鉛筆で「飛行機の事故は戰鬪に原因するに非ず、燃料の缺乏に因するものにして陛下の飛行機を損するは眞に申譯なし」と走り書きした遺書が發見されたと言はれ、兩勇士が如何に從容として武人の最期を飾つたかがしのばれる

地方衛生指導機關 關東局保健所

防疫、体位向上に積極的活動

昭和十年三月關東局告示第二十一號を以て新京中央通り十八番地に、關東局保健所を設置しこれを警務部衛生課の所屬とした、斯く設置された保健所は正に全滿に於ける地方衛生指導機關たる保健所の嚆矢として意義まことに大なるものあると共に豫防醫學の發達に寄與するところの功績尠からざるものがあつた、だが同保健所は二年九ケ月の短命を以て治外法權撤廢、附屬地行政權移讓と共に滿洲國に移管されることになつた、玆に既往の足跡を辿り來るべき日その眞價をして遺憾なく發揚しまた活躍を期して俟つものである

×

從來關東局の衛生行政は管內の特殊的な實情に鑑み專ら防疫行政に重點を置き、保健衛生方面は寧ろ閑却し來つた傾があつた、勿論衛生程度の低い滿洲に於てはとくに防疫衛生は重要であるが、然し防疫衛生は單に

消極的 に現狀保持に努めんとするのみで積極的に衛生狀態の刷新改善を圖ることは出來得ない、最近日本內地に於ても國民の體位が漸次低下して行く傾向があり、之に對して國民保健の問題は重大關心事となつてゐるが滿洲の保健狀態は一層憂慮すべきものがある、今之を傳染病率について見るも日本內地に比し腸チブス約六倍、赤痢約十八倍、流行性腦脊髓膜炎二十六倍、猩紅熱約四十倍、痘瘡に至つては實に百倍と言ふ驚くべき高率を示し又結核の死亡率に於ても日本內地に比し勿論著しく高率であるが、歐米諸國に比せば約四、五倍の驚異的多數を示してゐる

又在滿邦人の體位は日本內地人に比し一層低下しつゝあるものでこれは統計の上にも明瞭に表示されてゐる、この恐るべき事實の因つて來るところは多岐複雜であるが、就中保健衛生の缺陷と重大なる關係のあることは否めない、よつて當局は從來の方針を刷新し防疫衛生を重視すると共にさらに一步を進め保健衛生に力を注ぐ事とした、即ち積極的に住民の社會生活、個人的素質につき生活改善、活動能力增進等を講究し各個人の抵抗力完成により諸疾病を未發に征服し

體位の 向上を圖ることゝしたのである、玆に當局は地方衛生指導機關の設置を計畫し差當りこれを新京に設置することゝして昭和十年三月新京中央通十八番地に關東局保健所を設置し保健衛生一般の指導誘掖及び衛生思想の啓發普及に關する事務並びに豫防醫學的診療を開始した、設置當時の保健所は所員僅かに醫師一人保健婦一人であり、且設備の不完全廳舍の狹隘等保健所の成長に多難を思はせるものがあつた、然し關係當局者及び所員の努力の結果は一般市民もこの種施設の必要を認めると共に保健衛生に對する關心は漸く昂まるに至り當然保健所の擴充強化の必要を生じたため當局はこれが實現のため所要經費につき經理當局と數次折衝の後十一年度豫算に計上の承認を得たのである

而して昭和十一年度はこれを擴充して本格的にその機能を發揮せしむることゝなり先づ廳舍の擴充のため同年五月中央通り一番地へ一時移轉し六月舊廳舍に三百五十坪の建坪を增加し各科相談室を始め物療室、試驗室その他の

增築を 始めたのである、工事は十一月竣工、十二月これに移轉すると共に、局令を以て從來衛生課に屬した保健所を分離獨立せしめたのである

（寫眞は廳舍全景と小阪所長）

青年學校移管式 生徒は必ず登校

青年學校では滿鐵行政權の移讓に伴ふ移管式を卅日午後七時より同校において行ふが、全生徒は當日學科の有無にかゝはらず出席することを希望されてゐる

郵政生保現在高

郵政總局發表＝十月末現在の郵政生命保險現在高左の如し

△件數 一〇、〇三六件
△保險費（月額）一〇、八四七圓四四
△保險金額 一、九五四、五三二圓〇〇

物騷なピストル強盜

昨夜から今曉にかけ被害二件

每年結氷期に入り正月が迫つてくると强盜追剝の類が頻發し警察當局頭痛の種となつてゐるが廿八日夜から廿九日の朝にかけて二件のピストル强盜事件があり治廢實施を前にした首都警察廳捜査股では村上捜査股長陣頭に立ち金籍、門脇巡官等總出動のもとに管下警察署と協力活動を開始した、廿八日午後六時頃特別市東安屯東下次門牌二苦力頭李銘存（四〇）方に拳銃を所持した二人組の强盜が侵入拳銃をつきつけ家人を脅迫現金三十一圓を强奪そのまゝ逃走、續いて廿九日午前一時頃寬城子警察署管內宋家窪子門牌九十八吳景方（四九）方に拳銃を所持せる三人組の强盜押し入り蒲團七枚、衣類九點、時計（時價五十圓）を强奪悠々と闇の中に姿を晦して仕舞つた

京城、平壤間 送電線完成

【京城國通】朝鮮送電で建設中の京城平壤間十五萬四千ボルトの送電線（一九五キロ）並に變電所が完成したので一日水色で落成式を擧行する

こゝにも限りなき前進

明春巢立つ制服の處女にも

現實派頓に激增（敷島高女調べ）

滿洲女學校制度が五年制より四年制に改定され現在の三年生より新制度が實施されて五年制度の適用を受けるのは四五年のみとなつたが此の時に當つて明春卒業の五年生は卒業後如何に進むかを敷島高女で打診してみると

家庭において良き主婦としての資格を養成する爲め種々の教育を受けて女性として進むべき結婚への常道を踏むのが半數で後の半數は上級學校に進み、更に學窓生活を續けるといふ者と職業戰線へ乘出し未知の社會へ飛びだしたい希望を持つてゐる者が占めてゐて、此處にも時代の波の反映を見せてゐるしかも上級學校に進む者は單に家庭に殘るのが嫌であるといふ理由であつて別にどの學校ともまだ決めて無いといふ漠然としたものもあるのに對し職業戰線に乘出す群は甚だ現實的に將來を研究してゐるのは對照上甚だ興味がある

即ち單なる商店賣子や會社事務員よりも收入の多いタイピストへと望みをもつてゐる者が多く現在官廳大會社の採用してゐるタイプライターは大體において日本側は日本タイプライター、滿洲側は菅沼タイプライターであつて希望する方の養成所にて講習を受けるが、四個月の日數と僅かな費用で普通程度に打てる樣になり、しかも國內産業經濟の整備につれてタイピスト不足をつげ上達者は講習終了も待たないで三個月位で職につくといふ狀態であるが、かうしたことを調査して就職後最初の月給にも足らない費用で講習が出來る上にお小遣ひやさては嫁入費用まで親の心配にならないですむといふので此の現實派女學生達の希望の的となつてゐるのであつて正に國都の女性風景も時代の呼吸につれて限りなき前進を示してゐると言へる

北支皇軍慰問に

市民代表近く出發

朔北の野に奮戰をつゞけつゝある皇軍慰問のため新京市民代表五十嵐鄕軍聯合分會長、聯合町內會早川武夫、氏子總代淺井正一郎、長勇會船越喜代治、新京神社神職植村近平の五氏は十二月四日午後四時四十分新京驛發列車で出發するが一行は一週間餘に亘り察哈爾、綏遠、山西方面の皇軍を慰問し二十日歸京の豫定である

彩票今月の幸運者

頭彩は皮鞋商の劉君

今月の幸運者第四十四回奬券彩票の當籤者はその後經濟部彩票股で取調べ中であつたが、廿五日にいたり頭彩、二彩、三彩の新京の當籤者が左の如く判明した

△頭彩甲七七二一の一萬圓獲得者は新京大馬路一〇四號劉家焦（三五）といふ皮鞋商さん、劉君の店は小規模のため客足も少くその日暮しの生活をして來たが、祝町泰正號代買店で求めた彩票が意外にも頭彩に當籤、思ひもうけぬ幸運を摑んだ劉君は狂氣の如く喜んでゐたが流石は商人

この上はこの一萬圓を資金にして店舗を擴張、內容を充實して薄利多賣主義でお得意さんにもこの慶びを分ちたいと仲々拔目無いことを言つてゐた

△二彩は特別市大經路森川三造君といふ治安部のお役人今回始めて買つたたつた一枚の彩票が途端に三千圓になつて返つて來たといふ夢のやうな話

△三彩は富士町源盛棧のボーイさん達、數人で零細な小遣ひの中から漸く一片、二片宛買求めたのが運よく當つたので喜ぶまいことか將來の開業資金にと早速貯金した者もあれば、子供の防寒服を買つてやつたり此の處、盆とお正月が一緒に來たやう

哈鐵混保成績

十一月中旬哈鐵管內混保大豆檢査成績は寄託總數社線向け一〇三四車內合格九四九、北鮮向け九二車內合格九一車、計一一二六車にして前年同期の社線向け一一三五車、北鮮向け三三車、計一一六八車に比し四二車の減少を示したが月半ばより、寒氣俄に襲來し道路河川の凍結により馬車廻り活況を呈した、合格割合は

社線向け 一等四七五、二等一八三、三等二一八、四等七三
北鮮向け 一等六二、二等一五、三等八、四等六

であるが社線向け各線別成績左の如し

線名	合格者數	線名	合格者數
濱北	一九九	京濱	六〇八
拉濱	二三	其他	一八
濱州	一〇一	松花筋江	〇
濱綏	〇	合計	九四九

前年同期一〇七三

孫民生相東上

民生部大臣孫其昌氏は同次長宮澤惟重氏外一名を帶同廿九日午前八時發ひかりにて所管事務に關し日本當局と重大打合せの爲朝鮮經由渡日の途にのぼつた

菅野總局文書課長來京

鐵道總局文書課長菅野誠氏は鐵道警備機關移讓に關し滿洲國側と打合せのため二十九日午前八時十分來京した

あす（三十日）

▲關東局警察廢廳式、午前十時、關東局及新京署 ▲滿鐵各學校廢廳式、午前九時 ▲滿鐵地方課解散式、午前十時、西廣場滿鐵倶樂部 ▲朝鮮人民會聯合會閉鎖式、午前十時 ▲軍用犬買上應募締切、軍用犬協會支部 ▲蒙古紹介展、寶山 ▲萬歳大會、公會堂

今晩の主なる演藝放送

▲八・〇〇常磐津（東京）常磐津三東勢太夫外 ▲八・三〇歌澤「藏の瀨外」（東京）歌澤寅右衛門 ▲八・四五清元「春夜障子梅」（東京）清元詩壽太夫外 ▲九・〇五長唄「時西行」（東京）吉住小桃次

全國萬歳大會
今夕第二日目開演

廿八日より蓋をあけた全日本代表萬歳大會は久方振りの色もの豪華版として初日は會場も破れるばかりの盛況裡に爆笑の巨弾を炸裂せしめたが、引き續き第二日目夜は演しものも新に取替へて開演する

顔觸れは全國粒選りの藝達者連卅余名、プログラムもナンセンス、漫才、音曲、立體浪曲、奇術、舞踊、ナンセンス、漫劇などを交へた賑やかなもの二十餘種大衆娛樂としては完璧の陣容を誇るもの、家族れのお樂しみにも好機會である、本紙愛讀者は刷込み割引券の御利用をお勸めする

母への抗議
けふからの長春座

長春座二十九日よりの番組は左の如く松竹一番線二本立である

△松竹大船「母への抗議」佐野周二と三宅邦子の共演する映畫で、父に背いて不良仲間に入つた青年と、母に捨てられ父を失ひ孤獨の中に母への憎惡と思慕とに惱む乙女をとりあげ、相入れない肉親の相剋と行惱む戀愛の姿を描き出す、齋藤良輔のオリヂナルものにより深田修三が監督、助演者は齋藤達雄、吉川滿子、槇芙佐子、葛城文子など

▽松竹京都「一狼火」本郷秀雄と北見禮子の主演する映畫で星哲六への監督作品である、維新の北越戰爭に秘められた官軍の密使と旅籠の娘との戀の痛ましい犧牲を描く、坪井哲、若本一郎、中村正太郎等助演、本郷、北見のコムビが描く勤王物語り

ST協定消滅す
洋畫配給大變動

松竹、東寳の洋畫興行社と洋畫配給十社によつて協定されてゐたST協定は、廿世紀フオックス、ユナイト、東和商事、三映社、メトロの五社がSY系に、BEO、パ社、ユ社、コロムビア、ワーナーの五社が東寳系に封切作品を提供すべき事を申合せ今日に至つたがチヤツプリンの「モダン・タイムス」松竹、東寳同時上映が不能に終つてから、有名無實の存在となり、加ふるに洋畫輸入禁止の昨今では全く自然消滅の形で、BKOの「踊らん哉」が東寳日比谷劇場と共に、松竹系の國際劇場に同時封切されたり、ユナイトの「孔雀夫人」が東寳系に公開されたりしてゐたところ今度SYではRKOと契約を結び、從來東寳系のみに封切されてゐた作品を、SY系で封切する事になつた、この結果はST協定の消滅に拍車をかけ、從來の洋畫界分布狀態は一變するであらうと見られてゐる

「東洋平和の道」
鈴木氏一行北支へ向ふ

東和商事が、本格的國民記錄映畫として、北支に撮影隊を派遣し、製作中の、東洋平和の道は先づ五千米のネガを使ひ、北京を中心に天津、大同保定、綏遠一帶の風景を撮したが、更に完璧を期すべく発きに編輯を依頼した鈴木重吉氏が積極的に監督として出陣する事になり、廿二日夜十一時東京驛發で北京へ直行した

この「東洋平和の道」は、從來の戰線記錄映畫とは趣きを變へ、暴虐なる支那軍閥の手を逃がれた北支が新しい樂土として建設されて行く姿と、數千年の傳統を誇るその文化の紹介及び、その背後にあつて飽くまで東洋平和の爲めに正義の軍を進める日本の戰ひを取入れたもので、我が國最大の記錄映畫として完成される豫定である

グレース・ムーア來朝

ハリウッド銀幕界の寵妃グレース・ムア嬢は明年八月一日より東京を振出しとして日本の十一都市で出演する契約に署名した、ムーア嬢は一九〇一年テネッシー州に生れオペラ歌手として人氣を博したが一九三〇年映畫界に入り多くの音樂映畫に主演し日本のフアンにも御馴染が深い

さぼてん

ミス東洋では常に異色ある催しものを出してフアンの待望に迎合するんであるが、今度は、よからふ祭、どうです何んでもよからふと云ふのである、曰く連戰連勝コレヨカロー、三國協定コレヨカロー、治法撤廢コレヨカロー、南京逃げるコレヨカローといふんだ、そこで一杯コレヨカローべつぴんサンサービスコレヨカロー、ソレオキヤクサマドンドンクルコトヨロシイアルコレヨカロー、まさしくこれよからふ祭サノヨカロー祭▼銀座新道のサロンキングと云へばサボテン子の種を造るキングで有名である、とノタマへばソレツとばかり次の行に目を轉するであらう、世のカフエーマン諸君、さにあらずサニアラズ、腹が空つては戰が出來ぬといふところからサービス品の大奉仕が初まつたツマランぢやないかと云ふ勿れ、それ何かで言ふ假令ちやないか、例ツタ、々々、さすがは頭腦明晰▼赤玉の百合子クン、若い連中の間に評判がいゝ、「アンタ可愛いゝワ、つき合へさうよ、サ飲んで頂戴」と三段論法式の媚てが利いて若い連中かならず嬉しくなつて、つい思はず大散財をやつて仕舞ふといふ、若い美しい干、思ひ當る色男も多數ありませう

雑音

前進座の「新選組」を見る

「新選組映畫」中の佳作であると言はれやうが、粗雜で摑みどころのない非難を免れ得ないやうである▼村山知義のシナリオはシナリオとしては「雪崩」などよりも數等優れてゐるものであつても意圖するところの亡び行くものゝ姿を程度の余韻を含めて物語つてゐたのであつたが、映畫は木村莊十二の荒つぽい演出によつてシナリオ以下になつてゐる▼京洛にあつて逞しい實力を振つた新選組が鳥羽伏見の一戰に脆くも新しい勢力の前に潰え船で江戸へ下る、映畫はこの船中のシーンから始まるのであるが、江戸に落着いて殘つた隊士は僅か十九人、この邊の過程は明かにされてゐないし、浪人を狩り集めて甲州鎭撫隊を組織、官軍を邀撃する邊りの行軍にも甚だ手を拔いたところが見え一體に自滅へ亡びゆく道を辿るものゝ寂しさ悲しさが觀るものに切實に迫つて來ない▼リアルであるのもいゝが、かう無感情であることがリアルであると言へるかどうか、前進座の演技も荒れてゐる、中途半端に終始してゐるのがこの映畫の價値を著しく低下せしめてゐる

火曜　辛酉　先勝　開　觜宿
舊十月廿八日　十一月卅日

●一白の人　新事の計畫は尤も宜しく前途の發展を呈す　甲と乙と丁が吉
●二黒の人　力量を思はず大望のみを企つれば失敗あり　丙と庚と寅が吉
●三碧の人　家居して安靜を保つが吉兎角危險起り易し　甲と丙と壬が吉
●四綠の人　分を守りて忠直なれば次第に良好なりとす　甲と乙と未が吉
●五黄の人　兎角見込外れを生じ易き日訴訟爭論亦注意　庚と艮と寅が吉
●六白の人　進退共に憂ひの伴ふ日舊態維持が安全第一　辛と丁と癸が吉
●七赤の人　苦を忍びて撓むことなく努むれば終局は吉　甲と庚と壬が吉
●八白の人　諸事效なく進むに凶なり病厄盗難失物注意　庚と辛と寅が吉
●九紫の人　意想外の發達を遂ぐることあり精勵すべし　乙と未と庚が吉

讀者半額券

日本代表萬歳大會
場所　記念公會堂
期日　廿八日より三日間

本券持參者に限り入場料壹圓のところを半額割引（但し大人一人一枚限り）

新京日日新聞社

讀者半額券

日本代表萬歳大會
場所　記念公會堂
期日　廿八日より三日間

本券持參者に限り入場料壹圓のところを半額割引（但し大人一人一枚限り）

新京日日新聞社

滿鐵の北支進出は當然のコース
情勢の變化に適應した行き方

昭和十年頃北支進出が問題になつた時にも滿鐵中心説は有力であつた、ただ資金調達難といふ理由によつてその態度を積極化し得なかつたものである、しかしその後滿鐵は北支の道路、河川、電氣、紡績鋼産、農産等に對する調査を行ひはじめた、その後興中公司の設立あり、それより二年を經た今日突然日産の滿洲國移轉が發表され、それに相ついで滿鐵の北支進出が發表されたのである、滿鐵は周知の如く資本金八億圓、拂込資本金六億七千六百二十萬圓といふ日本一の大會社であり國策會社であるがその關係してゐる事業は單に鐵道ばかりでなく滿洲の重要產業には殆んどその觸手を伸ばし、子會社が百數十に及ぶ、元來滿鐵は半官半民の企業會社として政府の手厚い保護を受け現在の地盤を築き上げたがその性格として一面には國策會社としての非營利性と一面には營利會社としての營利性を包含してゐる、しかも營利的性格をもつた滿鐵の子會社、たとへば炭鑛業、鐵鋼業、機械工業、電氣瓦斯事業その他一聯の事業會社は現在既に相當な成績をあげ滿鐵の手を離れても經營出來るやうになつてゐる、その上滿洲の經營政策上に於いても早くから滿洲國政府と滿鐵との間に相容れない要因が成長してゐたのである、この矛盾はいふまでもなく滿洲國側の事業經營の重要性の向上と滿鐵の重要性の低下であるが、滿鐵の方向轉換は遲かれ早かれ具體化せねばならぬ社會情勢に立ち到つてゐたものである、日產が現在の資本金二億二千五百萬圓を四億五千萬圓に增資し增資分を滿洲國が出資して滿洲國法人として滿洲經營に進出し滿洲の重工業部門、その他新設すべき飛行機工業、自動車工業、輕金屬工業、化學工業等を受け持つやうになつた現在、滿鐵が滿洲に於いて純然たる運輸會社となり自動車道路、バス事業等を經營し殘余の主力を北支に注ぐのは滿鐵の資本、技術、經驗から見て當然のことであらう

新京取引所 前週取引週報

混保大豆 先物 今週に入るも依然環境は好轉せず十一月限五圓六十三錢、十二月限五圓六十七錢と保合裡に寄付き、寄鼻輸出筋の現物買を報ぜられ各限共四錢方上伸したが、之を週中の最高値として跡持耐へ得ず、而も週央は豆油稀有の激落を演ずるあり、出廻の增加埠頭在荷の漸增と共に歡謗に轉じ十一月限は五圓四、五十錢見當に低迷し、日々の動きも五、六錢を出ず、環境全く不透明に無風狀態に推移した、而して週末に至り漸く手仕舞、乘替物を見たが、買氣薄と共に相場はヂリ安く十一月限五圓四十一錢、十二月限五圓四十七錢で越週した

	高値	安値	出來高
	圓	圓	車
十一月限	五・六七〇	五・三七〇	一、〇〇八
十二月限	五・七一〇	五・四八〇	六一〇
本週總出來高			一、六一六車
一日平均			三三六車

高粱 先物 二十四日に十一月限三圓五十八錢（十二月限へ乘替）、十二月限三圓六十七錢、三圓六十六錢で各一車の商内を見たのみ、引續き閑散を呈した

	高値	安値	出來高
	圓	圓	
十一月限	三・五八〇	三・五八〇	一車
十二月限	三・六七〇	三・六六〇	二車
本週總出來高			三車
一日平均			一車

興中公司でも新情勢に備ふ
滿鐵との間に分野協定か

興中公司は純然たる滿鐵の子會社であり資本金も一千萬圓といふ少額ながら國策會社である、昭和十年十二月創立された當時から北支經濟開發の使命を持つた純然たる國策會社なのである、しかしこの國策會社たる興中公司は資本金も少なかつたし、今日の如く轉廻してゐなかつたためその事業としては最近まで見るべきものがなかつた、その事業としては僅かに天津電業公司（資本金八百萬圓の日支合辦會社、天津特別市政府と半額出資）の設立と塘沽運輸公司（資本金三百萬圓、興中公司、大汽、國際運輸、日滿倉庫出資）の設立、惠通航空公司（資本金百五十萬圓）の設立ぐらゐなものであつただが支那事變が勃發するや興中公司の姿は急にクローズ・アップされその活動も急激に活潑となつて來た、社長十河信二氏が新情勢に對應する根本的な改組案を携へて本年九月末東上し軍部その他の關係當局へ具申したのも興中公司の使命が急激に擴大され重大化したからに外ならない、その改組案の大要は次の如きものであつた

一、興中公司は國策的見地から從來の事業會社を純然たる投資會社に改組し日支合作による交通體系の整備重工業、化學工業の確立、農業資源の確保のため專ら開發資源の調査並びにこれが事業化を計る

二、既存の鹽業、電業等の事業は別に經營機關を設置する

三、開發資金は必要に應じ三井、三菱、住友、大倉等の財閥をはじめ滿鐵、東拓等の出資を仰ぎこれらの資金は總て興中公司を通じて投資する

四、出資財閥はそれ〴〵代表者を一名乃至二名宛興中公司に從り右代表者をして各種の事業を經營せしめる

以上の如き内容の下に資本金を一億圓に增資しようといふのであつた、そして當面の事業として龍煙鐵鋼の開發、製鐵事業、井陘炭鑛の開發、塘沽の築港、棉花栽培、その他鐵道方面の建設も計畫してゐたのであつた、しかしこの案に對しては反對もあり現在增資も實現せず依然として資本金は一千萬圓である、とも角最初には二億圓增資案などもあつたのであるから興中公司としては北支經濟開發を一手で引き受ける積りであつたやうである、しかし滿鐵の積極的な北支進出が決定すれば興中公司との間に適當に分野を協定することになるであらう同公司の使命は愈よ重大となるものと言ふべきである

協定擴充説の日滿獨貿易關係
日本を中軸に兩者は兩輪

ドイツへ派遣せられた國民使節伍堂前商相は十五日ベルリンへ到着したが到着に當り同盟通信記者に語つた談話中に於て「日滿獨貿易の調整擴充は事變前からの自分の持論で此の際實現を期してゐる」と語つた、獨滿間に日滿獨三國間の緊密なる相關々係を基調とせる通商協定の締結を見たのは昨年四月、本年は協定更新を見た上最近には滿洲中央銀行及びドイツのオットウォルフ財團間の信用設定協定も獨滿兩國政府の同意する所となり、防共協定を中心とする日獨政治關係の緊密化と相俟つて日滿獨の三角關係は益々緊密化してゐる、傳へらるゝ所によれば日獨滿通商關係の調整は伍堂使節の示唆のみにとゞまらず、政府に於ても來月上旬頃からベルリンで折衝を開始する筈だといふ

日本は獨の顧客

ドイツの貿易月報を見ると本年上半期中のドイツの對日滿貿易は―（單位千マルク）

▲輸入

日本より	一三、九四七
滿洲國より	三二、八九三

▲輸出

日本へ	五二、六〇八
滿洲國へ	四、七九八

―となつて居り、滿洲國に對しては支那勘定、日本に對しては受取勘定となつてゐる、これが即ち昨年成立の獨滿通商協定の基調で茲にドイツは滿洲國の產品を買付ける代りに、日本はドイツ品の好き顧客になると言ふ三國相互關係が成り立つてゐる、而して本年上半期の統計から見るとドイツの滿洲國からの輸入額は約三千三百萬マルクの內三千二百萬マルクと言ふ大部分は滿洲大豆その他油脂類の輸入で、これに對してドイツは日本へ化學工業品、製鋼製品、機械類等併せて約五千三百萬マルクロ本へ賣つてゐるのである、日本はドイツにとつて世界列國中第廿一位アジア諸國中第三位の顧客位であり、又ドイツの滿洲國からの輸入額はアジア諸國中英印、蘭印英領馬來、支那に次ぐ第五位を占めてゐるのである

獨滿への惠澤

次にドイツ對日滿の貿易關係を日本及び滿洲國の貿易統計に就いて見ると別表の通りで滿洲國の對獨輸出は一九三六年には三千三百萬圓に減つてゐたものが、獨滿協定成立後の一九三六年には五千萬圓となり、更に本年は八月までの八ケ月間だけで既に四千三百萬圓に上つてゐる、而して昨年中の對獨輸出額五千萬圓から見るとドイツは滿洲國にとり日本、支那に次ぐ第三位の顧客であり、以つてドイツが新興滿洲國に對して如何に緊密な關係を持つやうになつたかを示すに足るものがあるのである、一方日本のドイツからの輸入額は昨年は餘り成績が擧らなかつたが、本年は八月までの八ケ月だけで優に昨年中の輸入額を超過し、更に九月までの累計は一億三千百萬圓と既に一九三五年中の輸入額をも超過してゐる、之れは又獨滿協定がドイツに幸ひした實證であつて要するに獨滿通商協定は日本を仲介として滿洲國に幸ひしドイツにもその惠澤を及ぼしてゐると言ふ譯である

以上日滿獨通商關係の簡單な一瞥からしても、日滿獨通商關係の調整擴充が如何なる方向に向けらるべきかは窺知されやう、傳へられる所によれば新折衝に於ては滿洲國最近の經濟發展を考慮に入れて現在一ケ年一億圓となつてゐる滿洲國の對獨輸出限度を二億圓に擴張すべく交渉するとの事である（終り）

鮮米買上げ
倉入れ振はず

【京城支局】政府の鮮米買上げは去る十七日決定したが之れが納入米の朝鮮米倉入れは甚だしく不振で買上決定總數量糙換算百四十三萬九千叺に對し二十五日現在で米倉の群山支店は四萬四千餘叺、釜山の若干、仁川は一萬二千餘叺と合して僅かに五萬六千六百餘叺即ち總買上高の約四分に過ぎず而も之等は殆んど置据で新規の入庫は極く僅少である、之れは既報穀用叺の暴騰を初め買上げ後の米價暴騰や輸送不圓滑などに基因するものと見られてゐるが何れにしても納入期間の切迫と共に果して決定數量に達するか憂慮されてゐる

朝鮮でも無水酒精混用
制實施の計畫

【京城支局】總督府では燃料國策に呼應し豫算三十萬圓を計上して明秋十月を期し無水酒精の強制混用制を實施すべく目下鋭意準備を進めてゐる混用率は內地と同樣五パーセントで之れに依り約三千萬石の無水酒精を要するものとされてゐるが其の中一萬五千石は新義州の東拓系工場で製造殘余は甘藷より抽出する計畫で鮮內地方に約八百萬石の甘藷を栽培其の地方で二ケ所の官營工場を設置することになつてゐる

朝鮮東海岸
未曾有の鰯景氣

【京城國通】東海岸の鰯油脂工業は本年は漁期の當初懸念されたのに反し晩秋となるに從ひ漁獲激增し未曾有の豐漁ともいふべき鰯景氣を示現してゐるが、昨年の生產高粕二百十萬俵、油七百六十萬罐に比し本年は現在までの生產見込高でも粕二百五十萬俵、油八百五十萬罐は確實でこの調子で進めば粕の三百萬俵、油の一千萬罐突破も至難ではないと見られ科學的漁撈法の成功ともいふべきである、なほ現在迄の生產高を評價すれば六千五百萬圓に達し昭和六、七年頃の生產高に比すれば約十倍に當る

商況欄（三十日前場）

海外經濟電報

倫敦金塊	七磅一 休 會
紐育金塊	休
倫敦銀塊	一九片一六分二
同先限	一九片一六分九
紐育銀塊	休
孟買銀塊	五〇留比一六分一
スチール株	五五弗八分五
アナコンダ株	三〇弗四分一

▲市俄古小麥

十二月限	九〇仙八分三
五月限	八九仙八分七
七月限	八五仙八分一

▲紐育棉花

現物	八仙二二
十二月限	八仙〇七
一月限	八仙一〇
三月限	八仙一七
五月限	八仙二〇
七月限	八仙二三
十月限	八仙二六

▲印棉

ブローチ	一六六留比八分三
オームラ	一五〇留比二分一
ベンゴール	一三一留比〇〇

▲外國爲替

英米爲替	四弗九九仙一六分九
米日爲替	二九弗一三仙
米支爲替	二九弗六〇仙
英日爲替	一志二片〇〇
英支爲替	一志二片三二分三
印日爲替	休 會

▲滿洲中銀爲替

上海向	九八弗〇〇
天津向	九八弗〇〇
紐育向	二九弗八分一〇〇
倫敦向	一志二片〇〇

金銀市況

●上海標金 本寄 歩 ―

▲阪神爲替 對米 賣 二九弗 買 二九弗 八分〇〇 一〇

各地株式市況

▲東京株式（短期） ▲大阪株式（短期） ▲大連株式（短期） 寄付・大引 [illegible]

各地商品市況

▲大阪綿糸 ▲大阪棉花 ▲大阪人絹 ▲大阪期米 ▲横濱生糸 寄付・大引 [illegible]

各地特產市況

▲新京 ▲大連 現物 大豆・高粱・玉蜀黍・米・小豆・包米・先限 寄付・大引 [illegible]

青春の宿（五五）

須藤鐘一作　柴谷宰二郎畫

離れ行く（三）

「さう……」

さ、耀子は、心もち寂しさうに眉をくもらしたが

「ほんたうをいつたら、色仕掛けて、復讐するなんて、わたしは男らしい事ぢやないと思ふわ、卑怯な事だと思ふわ」

「………」

「あんたは、一昨々日から、家へ歸らないでせう――一昨日、千鶴子さんから、そのことをきいて幸子さんに接近してゐらつしやるんだな、つて事を、直感したのそして、卑怯ぢやないかしら……と思つたけど、相手が、それよりもつと、卑怯な、慘忍な、惡辣な手段を用ひたんだから、あまり、あんたを責めることも出來ない、と思つたのよ―」

「………」

「でもね……もし、わたしだけの希望だけをいはしてもらへばそんな卑怯な手段はさらないでほしい、と思ふの……方法ならまだ、いくらでもあるんだから、もつさ、男らしい方法をさつてもらひたいと思ふわ」

「しかし――」

さ、讓治は、いつさう、苦しげに、やるせなげにいつた

「男らしい方法をさるのには僕には、力が足りませんからね……いや、足りないさいふより、全く無力なんだ。最も男らしい方法ならされるんだが……腕力でやつつけることなら、造作もないんだが……それは、許されないことですからね」

「無力だといふのは……お金がないといふことなの？それとも財力で……株の取引でだわ。株の取引で、爭ふ才能がないといふ意味なの」

「才能のあるなしよりも、金のないことですよ」

「それなら……わたしが、出來るだけの應援をしてあげるわ」

「他人の力を借りることは、男らしいこぢやありませんからね」

「でも、色仕掛けてやる事よりも、卑劣ぢやないでせう―」

讓治は、ぐつさなつたが、やがて、ちらさ、圖々しい笑ひをのぞかして

「しかし、あなたから、金を出してもらつた場合、他人は何と見るでせう。あなたを色仕掛けで、利用したと見はしませんか――」

「他人は、何と思つてもいゝぢやありませんか。實際にさうでなければ……」

なんだか、その調子では、どうやら、自分に戀愛を持つて接して呉れてゐるのでもないやうなので讓治は、訊ねた

「それでは、あなたは、さういふわけで、僕に應援しようといふのです」

「ほゝゝ。あんたは、わたしがあんたに戀愛してゐる――かも知れない……といはせたいのね。でも、それさ、これとは別よ。わたしはあんたに戀愛してゐるから應援しようといふんぢやないわ戀愛をしてゐなくとも、岡見さんのやうな惡人は、こらしめてやつた方がいゝと思ふから、あんたのやうな立ち場の人には應援するわ」

「………」

讓治の面を、また、苦痛の色が横切つた。

彼は、あゝした事情から、再び昔の仲間のもとに、大原一味のもとに歸らねばならなくなつた事の已むなさを、耀子にみとめてもらひたかつたが、その事をあからさまにはいへぬ。そこで、抽象的に、話をすゝめて來たのだが耀子が、これほどまでに、自分の事を思つてくれるさ知ると彼の心は傷まずにはゐられぬのだ。

社説

空虚なる國際聯盟

一

獨逸外相フォン・ノイラート氏が先月の末ミューニヒ市の法科大學で行つた講演の内容が傳へられてゐる。それによると同氏は、國際外交に於ける集團主義を批評してその實際味を缺ぐ點を指摘し、英國首相チェンバーレン氏が國際聯盟の薄弱化についてその原因を强國が協力を拒否することに歸してゐるのを咎め、むしろ原因結果を混同するものとしてゐるのである。すなはち國際聯盟がも少し實際的現實的であり得たならば何れの國家もこれと協力することを拒まぬであらう、然るに國際聯盟自ら錯誤と失敗を繰返してゐることは諸强國をしてこれと協力することを躊躇せしめる所以であると説いてゐるのである。最近の國際政局の情勢と照し合はせ、獨逸の外交擔當者からこのやうな批判が行はれてゐるのは若干の興味を唆るものがあると思はれる。

二

ノイラート氏は、いはゆる部分的若しくは局地的、地方的協約の發生を誘致して、國際聯盟中心主義の外交に對する龜裂を生ぜしめたのは國際聯盟自體であつて、その特殊の國家に對する制裁方策が直接の原因となつてゐるのであるから利害を共にする國家が他の利害を同じうする國家に對してそれ〲ブロックを作るに至つたことは必然の成り行きであり、國際聯盟自からこれを誘發したと言はねばならぬとしてゐるのである。從つて獨逸が國際集團主義を否定したのに對して、直ちに平和又は協調の意思を缺ぐものと解せられることは斷じて眞相を無視したものであると同氏は言つてゐる。しかも國際聯盟加盟各國が過去の經驗に鑑みて一層現實に即應することを知らないならばその運命は察するに難くないとすることの論斷は多くの贊成を得るところであらう。

三

集團的平和保障の方策は特に英國、佛蘭西が國際聯盟の基調とするところの建て前である。しかし實際に於いて、聯盟本位主義、集團主義の英國が獨逸をはじめ歐洲各國乃至米國との間に果して地方的協約を締結すること無しに國際平和及び協調を確保してゐるか否か、英國のみにとゞまらず、佛蘭西、ソ聯その他國際聯盟加入の各國悉く同じである。即ち現實の問題として國際聯盟が適切有效な作用をなすことが出來ず、終始空想に馳せて講壇外交を事としてゐる以上、各國とも別に現實に即應した方略によつて平和協調を完うせざるを得ないのである。政治上の成功は決定的でなければならぬ、單に他を眩惑せしむるが如き華美な理想を設定するだけでは不可である。聯盟の空虚さはもはや隱し難いと言ふべきである

支那向け飛行機部分品滿載
丁抹汽船を發見
＝關係者を引致取調中＝

【神戸國通】斷末魔に喘ぐ國民政府は今や歐米列强に泣きついて各種戰鬪武器の輸入に狂奔してゐるが、たま〲廿八日神戸に入港したデンマーク汽船マルデヌルスク號(五千噸)の船艙内に意外にも支那向飛行機部分品がぎつしり積込まれてゐるのを臨検の神戸稅關署員が發見、直ちに兵庫縣外事課に急報、同課でも事件を重視取調を進めた結果ニューヨークからパナマ、マニラを經由して廿八日朝神戸に入港したものであり、アメリカ製新鋭爆撃機及び戰鬪機の解體部分品でこれ等は總て香港を通じて陸揚する豫定である事が判明したので目下關係者を引致取調を進めてゐる

鎭江、江陰を猛爆
陸軍爆撃隊同乘記

【〇〇基地廿八日發國通】南京の咽喉を扼する鎭江空爆の陸軍飛行機に同乘を許された

記者は、高橋大尉指揮の精鋭〇〇機に搭乘、廿七日午後一時半〇〇基地を離陸した、この揚子江下流一帶は雪雲低く垂れこめ相當の惡天候だ、機は揚子江の本流を右手に眺めつゝ高度を高め一路鎭江に向ふ、無錫、常熟間上空に差しかゝつた頃機は密雲に閉ざゝれ僚機の姿も見えない、高度〇〇〇寒氣は飛行服を透し指先がしびれてしまふ、上空は雪が降つてゐるといふ、田舍の多を思ひ出してゐると肩をたゝかれわれに歸る、伊藤曹長が紙片を差し出した「密雲でよくは判らぬがこの邊りから敵地にはいる」と書いてある、機は依然として雪雲の中を飛んでゐる、約廿分、漸く雲晴れ繪のやうな景色が見ゑる、敵の空とも思へぬ、この時わが海軍機が丹陽の敵陣地を爆撃してゐるのが見える、〇〇米上空で見る日の丸のマーク、折柄「いよ〲鎭江だ」と記した

紙片が與へられた、パイロットの顏面に緊張の色が浮んだ、ぢつと下界を見つめる、爆彈投下だ、〇〇キロの巨彈は見事な弧を描いて機體を無雜作に離れた、さつと火を吹いた瞬間機はキュッと押し上げられた一彈、二彈、心ゆくまでに鎭江軍用基地を蹂躪し、更に鎭江驛の軍用貨車を見事に吹き飛ばして了つた、目的を達して機は高度〇〇をとり鎭江上空を旋回した、六十キロ西方の南京市街が箱庭のやうに浮んでゐる、孫文眠る紫金山が薄靄の彼方に見える、再び紙片を與へられた「袋に南京豆を入れ過ぎて破れて了つた」と書いてあつた、歸途につき今度は揚子江が左手に見える、江陰上空に差しかゝつた、三方山に圍まれた天然の要害だ、十數棟の兵舍が眞下に見えた、突如ゆらりと機體が震へ爆彈が間近でパッと開いた敵高射砲彈の炸裂の音は聞えぬが危險は

段々と近づいてくるやうだ、この時ばかりは飛行機がのろく思はれてじれつたくなつた、江陰要塞が漸く後になつた頃ホッと胸を撫で下して下を見れば三方から江陰に迫るわが地上部隊の進撃が蟻の這ふやうだ

「しつかりやつて呉れ」と機上から聲援を送りつゝ午後五時頃機は三時間半の爆撃行を終つて着陸した「どうだつた」といふ高橋大尉の聲がガンガンとして耳に聽きとれるだけだつた、記者は無言のまゝしつかりと大尉の手を握つた

徹底膺懲に一路邁進
關西財界有力者首相を激勵

【大阪國通】西下中の近衞首相は廿八日午後五時京都から來阪、住友別邸における關西財界有力者との晩餐會に臨んだが、來賓側近衞首相、加藤陸軍政務次官、池田大阪市長等出席、財界より中根貞彦、成瀨達、安宅彌吉、稻畑勝太郎、岡崎忠雄、佐々木駒之助、菊池恭三、森平兵衞、野村德七住友側より小倉正恆、八代則彦、堀啓次郎、村田省藏、今村幸男、山本信夫の諸氏出席小倉氏より

關西財界は擧げて政府を支持し國策に順應して戰時々局に善處する意向である旨の挨拶を述べ、近衞首相から

官民一致協力することによつて今後一層非常時局の克服に努力する

旨を答へ種々懇談を行つた懇談會後首相は左の如く感想を語つた

關西の財界人は一言にして言へば非常に時局問題について活潑で、今度の支那事變についても常に眞劍な態度をもつて臨んでゐられる事は自分として一番嬉しかつた、誰もが一致して一徹底的に支那を膺懲し禍根を將來に恰さぬやうにすべきである」との極めて强硬な意見を述べてをり「吾々はどこまでも長期交戰の覺悟であるから政府におかれても徹底的に今次支那事變の最高目的達成のため努力して戴きたい」といふ熱誠こめた激勵を受けて自分としても極めて心强く思ふ次第である

大谷光照師上海戰線慰問の途へ

【京都國通】さきに滿支の戰線を慰問した西本願寺法主大谷光照師は今回さらに上海戰線の皇軍慰問のため二十九日午前九時五十五分京都驛發列車で後藤澄心執行外三名の隨員とゝもに出發した、卅日午前十一時長崎出帆の上海丸で渡支西本願寺上海別院を中心に上海陸海軍部隊および第一線部隊を慰問する

陸軍獻納兵器命名式

【東京國通】國民赤誠の結晶陸軍獻納兵器の命名式は廿九日午前十一時から羽田飛行場で杉山陸相臨席の下に盛大に行はれた、獻納愛國兵器は新鋭戰鬪機四、九四式偵察機六六、小型連絡機一、輕戰車五輕裝甲車二三その他十九で式後特殊飛行や機械化裝備の威容を示して午後一時近く終了した

民生部に煙政科新設

政府においてはさきに阿片に關する十ヶ年計畫を樹立、これが斷禁方策要項を發表したが、第一着手として明年一月から新京特別市及び吉林、龍江、濱江、奉天、錦州の五省における阿片の零賣を公營にすることゝなつた、なほ阿片斷禁要項の決定に伴ふ阿片步の改正は今年中に行はれる筈移管し併せて阿片吸食者の治療、補導等を積極的に行ふことゝなつたのでこの指導監督機關として十二月一日から民生部保健司内に煙政科が新設

滿洲國各官廳登退廳時間變更

國務院は廿九日院令をもつて官公署出務時間を十二月より康德五年二月末日迄午前九時卅分より午後四時半迄とし、土曜日は午前九時半より午後零時半迄とする旨示達した

調停法の制定（上）
＝司法部當局談＝

法律思想の發達した近代文明國においては私法上の權利義務に關する紛爭は、訴訟の形式により裁判をもつて決するのを原則とし、國民一般もまたこれをもつて民事の爭議解決の唯一最善の方法なりと確信してゐた

しかしながら訴訟はその本來の性質が法律に從つて一刀兩斷に事案の勝敗を決するものであり、且また複雜な手續法規に從はなければならないのみならず事件によつて相當多額の費用と多くの日子とを必要とするので、之のみをもつてしては私法上の法律關係に關する凡ての紛爭の圓滿妥當なる解決は到底期し難いのである、之をもつて近時諸外國においては純粹な法律的裁判でなく、さりとてまた全然法律を離れたものでもない調停といふ制度に着眼され利用さるゝに至つたが、何れの國においてもその成績頗る良好なるがためこの調停制度は飛躍的に發達し、漸次その效用を發揮し、近代法制の一特徴をなすに至つたのである

□

わが滿洲國においては今次の治外法權撤廢に備へるため多數の法令を制定し各種の司法制度を確立したが、就中調停制度はその最も重要なるものゝ一に屬するのであるしからば調停とは如何なるものであるか、調停法第一條には調停制度の指導精神を明白に宣言してゐる、曰く

調停は當事者を融和の條理に從ひ爭議の公正圓滿なる解決を圖ることをもつてその目的とす

すなはち訴訟は當事者の感情等は何等顧慮せず、一刀兩斷の下に是非曲直を判定しその勝敗を決するので法律關係は極めて正確になるが、それがために却つて當事者間には精神的不和を招來すること稀でない、しかるに調停はその根本の目的とするところ勝敗の法に非ずして事件の平和的解決すなはち當事者の感情の融和である、事件の解決と共に當事者の精神的融和を圖りもつて隣保互助、共存共榮の美を擧げんとするところに其特徴が存する、又訴訟は法律の規定に從つて權利義務の關係を斷定するのであるが、法律は一の抽象的規範であるから日常發生する千態萬樣の事案を一律に法律の規定により適當に解決することは頗る困難と云はなければならない、これを決律の本質上寧ろ當然とするところであるが、さらに別個の方法により法律の規定を離れて具體的事件に妥當なる解決を與へ、もつて權利義務の實際上の調和を圖ることが必要である、これ即ち社會觀念が妥當と認むる標準即ち條理に從つて、爭議を解決する調停制度なるものが案出せられ且つ益々重要視せらるゝに至つた理由であり、調停制度の大切な長所である

□

調停制度は、以上の如き特徴を有するが故に、その範圍は成るべくこれを擴張し、その運用の妙を發揮し私法上の爭議は、訴訟手續を俟たずしてこれのみを以て圓滿に解決するのを理想とする、殊に一般民度の低き又法律思想の發達充分ならざる滿洲國の現狀においては、訴訟の如き煩雜なる手續に依るよりは寧ろ調停手續に依つて事件の解決を圖ることの必要なることは謂ふを俟たない、共處で今回公布の調停法は叙上の理想を實現せんがために調停法の適用範圍を頗る廣くした、即ち私法上の法律關係より生じた爭議はその事件が性質上調停を爲すのに適しないものを除くの外凡て調停に付することを得るのみならず、區法院の管轄に屬する請求(?)二千圓以下の事件は(?)必ず調停手續を經なければならないこととして(?)ゐる、從つて區法院の大部分の事件は調停によつて解決する仕組になつてをり、調停ではどうしても解決出來ない事件のみが訴訟となつて現はれることになつてゐる、調停に附する事件をその性質によつて制限し、すなはち借地借家の事件、金錢債務商事事件および小作事件に限り調停に附し得ることゝし、しかも前述の如き訴訟提起前の强制の主義をとらないところの日本の調停制度と比較するときはその範圍において極めて大なる相違が存するのである

防共世界の聯繫的陣營（五）
コミンテルンへの衝撃

民主主義の現狀維持と共產黨の世界革命の野合、換言すれば人民戰線といふ鵺的怪物の存在が跋扈すればする程金城湯池さては鐵壁の世界的防共陣營は必然的に强化されて行くのである、ソ聯革命の元勳であるトロツキーは「極東禍亂の最大原因は英國の對支政策にある」と看破して卓見を吐いてゐる、眞にスターリンの傾聽すべき含蓄ある言葉である、英佛に踊らされて聯盟に飛び込み最近に至つては九ヶ國會議に迄盲を突き込んだソ聯は今九ヶ國會議から毒ガス扱ひにされてゐる、スターリンが國際關係にモット鋭敏な感覺を持ち得る男であればより效果的外交に百八十度の方向轉換を策すべきであるコミンテルンの赤化工作とソ聯の火事泥根性が性懲りもなく直らない限り世間並の交際が出來ないとされる所以も玆にある、今や防共世界はソ聯一流の蛙鳴蟬噪に耳を藉さず本年十一月五日午後五時發表された獨波少數民族協定はコミンテルンの牙城であるモスクワにどう響いたか？氣休め的ソ支不可侵條約の如きは最も近き將來において支那のソ聯に對する不可信條約となるであらう、現狀維持に戀々たる民主主義國家はファッショ國家群の正當なる進出を不當に防止するため殊更コミンテルンの跳梁を默過し寧ろこれと協力するかの如き態度を示した結果、獨伊兩國をして現狀打破の決意を一層强固たらしめたものである

□

英佛兩國は大戰直後防共陣營に諸國を誘導して積極的にその强化を圖つた事を想起すべきである、コミンテルンの禍害の怖るべき事は大戰當時の比でない、そのコミンテルンや現狀維持國家群の玩弄物となつてゐる支那は特に熟慮反省してその國策の根本的再建を敢行し東洋の平和確定と人類文化の維持發展に邁進すべきである、コミンテルンの吠く魔笛に踊らぬ國家の末路は人類の史上に終止符を奏でる悲壯を挽歌であると切言したい關係國が今回締結された日獨伊三國の防共協定の門戶を廣く開放して防共に志を同うする諸國を勸誘崇高なる防共事業の一層の進展强化に拍車をかけその完璧を期すべきは防共世界の聯繫的陣營に勇躍する諸國民大衆の總動員的顧望である

（橋本壽一）

商況欄（元日後場）

株式相場

●大連株式（短期）

銘柄	寄	引
五品	一三、五〇	一三、五〇
豆新	一八、九〇	一
東新	一五、〇〇	一五、〇七
日蓋	七五、六〇	七五、六〇
滿鐵	三三、八〇	一
鐘新	三八、〇〇	三七、九〇
土木新	一三、六〇	一
日新	六〇、三〇	六〇、三〇

●奉天株式（短期）

銘柄	寄付	大引
東取	一	一
取新	一三四、〇〇	一三五、〇〇
大新	八四、〇〇	一
日新	七五、五〇	七五、四〇
同新	六〇、三〇	一
豆新	一	一
鐘紡新	三五、三〇	一
同新	一	一
電甲	二八、〇〇	一
東毛	一	一
日魯	一	一
電業	六五、五〇	一
化學	一	一

新京取引市況（二十九日後場）

品名	寄	引	出來高
現物大豆	三、五〇	一	一車
高粱	三、三三	一	一二車
小豆	三、〇三	一	一一車
玉蜀黍	一	一	一
●大豆 十一月限	五、三四	五、四一	三五車
十二月限	五、四八	五、四九	三四車
●高粱 十一月限	一	一	一
十二月限	一	一	一

手形交換高（二十九日）

八〇〇枚 一七四、九〇八、一〇

鮮魚小賣相場（十一月二十九日）

（品名・最高・最低の各欄。細字のため判讀困難）

品名	最高	最低
活鯛	一、三六	六五
[illegible]	[illegible]	[illegible]

野菜小賣相場（百匁に付き・十一月二十九日）

品名	最高	最低
[illegible]	[illegible]	[illegible]

附屬地、隣接地を包含
膨脹する大安東
一日市公署開廳式を擧行

治外法權撤廢、附屬地行政權移讓の結果安東は附屬地、滿人街を合同しなほ隣接地を包含して市制が布かれることゝなり來る十二月一日御影池內務局長官代理呂事務官參列の上盛大な安東市公署開廳式が擧行されることゝなつた、新省安東市行政區域は上流東子より下流二道浪頭に至る南北廿キロの鴨綠江に沿ひ東西最長五キロの帶狀の地域で總面積は八千七百萬平方米で包容人口約廿萬、將來四十萬の人口包容力を有つ名實共に大安東市である、市の行政機關市公署では現在の驛前現地方事務所に置かれ光榮の初代市長には地方事務所長多田晃氏が決定その他職員も何れも內定し廿八日又は廿九日一齊に發表される

滿鐵地方部
けふ解散式を擧行

滿鐵附屬地行政がはじめられてから卅年、この間滿鐵は附屬地の敎育、土木、衞生、警察その他凡ゆる部門に亘つて熱心なる經營を續け、輝かしい現在の大發展を見るに至つたが、今回愈々十二月一日を期して附屬地行政權一切を擧げて滿洲國に移讓することになつた

即ち現在の地方部、沿線地方事務所を中心とする滿鐵行政關係の千二百の社員は滿洲國へ敎育關係の三千三百餘名は新しく出來る大使館敎務部管下の各學校組合に移讓されることゝなり、輝かしい功績を殘した滿鐵地方部もこれと同時に解消、夫々新機構に移ることになり、滿鐵では卅日午前十時から本社は勿論沿線地方事務所と相呼應して同時に盛大な感激的地方部の解散式を行ふことゝなつた

定例國務院會議

廿九日の定例國務院會議は午後二時開會、左の法令案および改正案を審議可決した

一、滿洲勞工協會法　國內における勞働者の統制を强化せしむると共に勞力資源の國家確保および勞働力の合理的配給を圖り產業五年次計畫の圓滑なる遂行に資するため財團法人滿洲勞工協會を設立せんとするものである

二、專賣總局官制中改正の件　麻藥專賣開始の爲定員增加の必要あるによる

三、專賣署官制中改正の件　石油類專賣事務の增加および麻藥專賣開始の爲定員增加の必要あるによる

四、專賣工廠官制中改正の件　煙草製造に關する事務の增加および麻藥製造開始の爲定員增加の必要あるによる

御影池長官
滿拓委員兼務

內務局長官の更迭に伴ふ長官兼務事項につき政府は廿九日左の如く發令した

內務局長官　御影池辰雄
滿洲拓植委員會滿洲帝國委員を命ず
滿洲拓植委員會滿洲帝國委員　大津敏男
委員を免ず

奉天市以下の
新設市、街公署陣容

奉天省では治廢ならびに附屬地行政權移讓に伴ひ省下行政機構を擴充整備すべく準備中であつたが、奉天市はじめ省下新設六市ならびに街公署の新陣容は左の如く決定、十二月一日附をもつて廿九日正式發令された

奉天市市長　金榮桂
副市長　土肥顓
官房　庶務科長　庭川辰雄
調査科長　孟憲惠
會計科長　三浦一義（滿鐵）
行政處　處長　耿熙池
行政科長　宮村修一郎
敎育科長　張文朗
敎育科事務官　吉村
保健衞生科長　羽生秀吉
保健衞生科技佐　高橋秀次郎（滿鐵）
實業處　處長　張諒
產業科長　吉田市郎平（滿鐵）
事務官　米定
管理科長　山本貞義
財務處　處長　倉橋泰彥
稅務科長　渡邊三朗
管財科長　末定
主計科長　鮫島光彥
工務處　處長　滿江五月
庶務科長　末定
水道科長　熊野文作
土木科長　奧津五郎
建築科長　范先鼎（滿鐵）
撫順市　市長　增田增太郎
副市長　郭賓林
營口市　市長　尹永績
副市長　甲斐正治
鞍山市　市長　三重野務
副市長　董懷清
遼陽市　市長　楊晉元
副市長　稻葉賢一
四平街市　市長　古館直也
副市長　李曹庭
鐵嶺市　市長　王德春
副市長　平田淳
開原街　街長　三隅時雄
本溪湖街長　岸水喜三郎
大石橋街長　平岡正行
瓦房店街長　岡健次
海城街長　李多三
蓋平街長　閔鳳鈞
蘇家屯街長　羽村岸雄
熊岳城街長　趙善寶
[illegible]　滿采未定
[illegible]長　神谷長十
橋頭街[illegible]長　植村良四郎

奉天市公署警察廳に
回鑾訓民詔書下賜

畏き邊りでは治廢ならびに行政權移讓の十二月一日晴れの開廳式を擧行する新設市公署ならびに警察廳に對し回鑾訓民詔書を下賜遊ばされることゝなつたが奉天省公署ではこの有難き詔書を管下六市公署ならびに警察廳に傳達すべく薛省長代理王民政廳長以下六氏を夫々一日現地開廳式に派遣臨場せしめることゝなつた

醫師考試
第二部合格者

滿洲國最初の醫師考試第二部試驗（內、外科學、防疫學、產婦人科學）は去る廿四、五の兩日新京及び奉天で施行されたが、合格者は第一部試驗をパスした十四名中次の七名であつた、なほ第三部試驗は十二月二日から三日間新京市立醫院で施行する

竹內勝次　張祝齡　野田儉二　陳澤先　陳長韋　穗坂信夫　李軍尙

交通部最初の
航務官會議
來月六、七兩日軍人會館で

船舶法が施行され更に資源調査も行はれることゝなつたので、交通部ではこれら諸法の徹底を期するため航務官會議を行ふことになつたが、この會議は今回が初めてゞ今後引續き行ふ豫定である、交通部を始め關東海務局、朝鮮總督府遞信局、遞信省管船局の關係官が出席し期日は十二月六七日の兩日、日滿軍人會館で開催されるが議事內容は次の如し

△第一日
一、指示事項　船舶法及び資源調査規則說明
二、指示事項に對する質疑

△第二日
一、打合事項　船舶調査に關する事項、船員管理に關する事項、航路標識の管理に關する事項、その他事項

半島民の飛行機献納
十六機を突破
高射重輕機百卅七挺に達す

【京城國通】朝鮮軍新聞班發表＝事變發生以來半島民の愛國の至誠は軍愛國部、海軍要港部、總督府等を通じて各種愛國獻金として發露され當朝鮮軍を始め各當局を感激させてゐるが、その內朝鮮軍愛國部で取扱つた防空器材費の內で購入されたものは十一月廿日現在では左の通りで、既に飛行機、高射重、輕機百卅七挺を突破、なほこれ以外目下軍で手續中のものは金額にして卅餘萬圓があり、その他各地方で計畫中の飛行機の獻納等は續々申込があり、統計をとつて見ると今更ながら半島內鮮人の愛國の赤誠には感激させられてゐる

飛行機一六機　探照燈一二基、高射砲二門、高射觀測車三輛、大空中聽音機三臺、小空中聽音機二臺、患者自動車三輛、裝締自動車一輛　無線電話機三つ組、高射重機關銃一一五挺、高射輕機關銃二二挺その他兵器若干

總督府豫算
四十萬圓計上
……銃後設備の萬全を期す

【京城國通】今次事變に鮮內から出征して名譽の戰傷をした勇士のため總督府では銃後の施設として鮮內各溫泉地附近に療養所を設けて徹底的療養に當るとゝもに、戰死者遺家族その他に授產施設をなすことゝなりこれが經費として明年度豫算に四十萬圓を計上したが、一方鮮內銃後の諸團體を統一して生れた朝鮮軍事後援聯盟では民間の立場からこの施設を積極的に援助するとゝもに護國の英靈を永久に半島に止むべく招魂社又は忠靈塔の建立計畫を進める等鮮內における銃後の設備は一段と强化されてゐる

奉天三萬圓事件
新容疑者發見

地方事務所の大金庫を破つた三萬圓盜難事件につき奉天警察署司法係では事件發生以來全機能を發揮してぜひとも治廢移讓前に該犯人を逮捕せんと躍起の活動を續け、指紋搜査により取調べ中のところ、同所經理課員には指紋の容疑者は認められず、一方留置の嫌疑者は一部滿人を殘して歸宅を許したが、突然廿七日に至り新人物の登場を見俄然活氣を呈するに至つた、即ち同所經理課に以前勤務し現在同所某課に勤務の某（特に名を秘す）は平素素行不良であつたが、來春三月內地部隊へ入營することゝなり、歸國すると稱して事件發生當日の廿五日午後二時大連經由歸國せることが判明、有力な嫌疑者として搜査線上に俄然解決の曙光が見出され目下手配中である

婦人に多い下肢の病ひ
寒氣激しい折柄放置は大變
手輕な家庭療法

神經痛、リユーマチス等には寒さと濕氣とが大敵でこれから寒さに向ひましては一層注意を要します。殊に此の頃の若い女學生、職業婦人の中には下肢に關する病氣が多く、例へば關節部のいたみ、重苦しかつたり、起立、歩行に困難を覺えたり等です。之等は別に

發 熱もせず、急激に來ず、時を定めず痛み故障が強くなつて來ますそれは要するに生活の不合理から來る循環排池機能の障害と思ひます。非衞生な生活―此の頃の職業婦人の大部分が立つたまゝ若しくは椅子で一日中生活し、建物は主にコンクリートの床で、窓の少い洋館ですが、而も服裝は和服ですから下半身は殆ど空氣中に曝されてゐる譯です。我國の樣に濕氣が多く換氣通風にとぼしい洋館に一日立つて生活してゐるのでは寒冷の刺戟も身にしむ譯で、體内の色々の生理的機能は必然的に攪亂されます。從つて血行代謝が不活潑になり下肢が水

腫 樣に腫れたり、重くなつたり、疲勞倦怠を感じたり、段々進みますと筋肉の疼痛關節の痛み迄起して來ます。それでも若い人は生活力が旺盛で病勢に對抗して行く力がありますが若い内によく癒しておかないと將來の病根を今から蓄積してゆく譯であるので年をとつてから色々な病氣となつて現れます。即ち肋膜炎、肺病心臟障害等も之に原因して發病します。其の豫防法としては、できるだけ下肢を冷やさぬ事は勿論下半部を厚いものでまき毎日入浴して充分に溫まることが必要です。兄洗ふとかお化粧する爲とかの僅の入浴は保健に何の效果もありません。

最 後に家庭で簡便に出來て最も効果のあるものとしては辛子の脚湯です。それは茶椀一杯のカラシを袋に入れ、バケツに入れた熱湯中で充分揉み出した後水を入れて四十度位にし、十分から十五分を限度として脚部を溫めます。なほバケツの中に脚を入れて居るとき、湯氣を散らさないやうにタオルか何かで膝から覆ふやうにして下さい。

料理獻立
ほうれん草添 平目クリーム燒

けふはお子樣方や御病後の方にもよいお魚の西洋風料理を申上げませう。これは平目でしてございますが、平目の無いときは鱈やまたほうらなどでも代用されます。

【材料】（五人前）

平目 二十匁位のもの五切
ほうれん草 二把
バタ 大匙五杯
牛乳 三合
鹽、胡椒 少々
メリケン粉 大匙二杯半
鷄卵 一ケ
卸したチーズ 少々

平目をバタと魚スープで蒸煮しゆでゝバタで炒めたほうれん草にのせてモルネソースと卸しチーズをかけて天火で燒きます。

親の不注意から 赤ちやんの風眼
早く手當をする事が第一

風 眼は大人にもありますが、生れたてのこどもにも、しばしば見られる病氣です。これはお産のときに、母親にある菌が赤ん坊の眼に入つて起る場合が一番多い。その症狀は非常に猛烈で、眼は生れてから二日たつと、眼瞼が急にはれて來、その翌日あたりからは眼脂がどんどん出て、拭いても拭き切れぬやうになります。膿漏眼といふくらゐで、大變眼脂が出るのです。そして眼をあけて見ますと、白玉も眞つ赤になつてはれてゐます。それをまだ放つて置きますと、黑玉にもきづが出來て、しまひにはとろけて全くの盲目になつてしまひます。これには早く手當をすることが絶對必要で、それでも一ケ月くらゐは治療にかゝるのが普通です。

豫 防としては、今日では、法律でクレーデン法といつて、お産をしたときには、直ぐ一パーセント乃至二パーセントの硝酸銀水で、産婆が點眼することになつてゐますが、それでも時々あるのは、あとからバイキンが入る場合があるからなので、それには泌尿科の醫師に兩親とも病氣のあるときは治療をしてもらつて置くことが大事です。

應急手當に 冬の常備藥
これ丈あれば先づ安心です

かぜをひいたとき、頭の痛いとき、胸のやけるとき、やけどしたとき、飲みすぎたとき、といふ樣な場合に、臨急手當用としてぜひ家庭に備へつけておきたい藥があります。第一はかぜの藥です。かぜをひいて

熱の ある場合にはアスピリンやアンチピリンが一番安全です。分量はおとなは〇・五グラム宛一日二回、子供は〇・一グラム宛一日二回、赤ん坊は大人の十分の一で結構です。おとなでも子供でも下痢をしたり食慾が進まなかつたり、食物が胸につかへたりその他胃腸の惡い場合にはヒマシ油を飲んだ方がずつと經過がよくなります。分量はおとなは一度に二十グラム、子供は〇・五グラムくらゐ番茶の中に浮かして飲むのです。餅などをたべすぎて、胸がやけたり胃からすつぱい液がでる樣な場合には、重曹を一グラム飲めばなほります。しかしこれはなれるに從つて分量を增してゆかなければきかなくなりますが

結晶 より粉の方がよいのです。酒を飲みすぎて、二日醉をした場合には、重曹三グラム、ショーソーグラム、ハッカ油一滴を混ぜたものを飲むに限ります。頭が痛いときや重いときにはアダリン〇・五グラムを飲めば、なほつてしまひます。榮養の惡い子供とか、弱い子供には燐酸カルシユームを〇・五グラム乃至一グラムづゝ食事がすんだらすぐ飲ませるとだんだん丈夫になつてくるものです。子供の頭に腫ができて、かさぶたができた場合には、オレーブ油を塗つて一晩ほうたいをして寢ると、りつぱにとれてしまひます。また耳あかがたまつたときにも、オレーブ油を一、二滴たらしておくか、または綿にひたして耳に入れておくと、柔かくなつてとれてきます。

鼻の つまつた場合とか中が乾いた樣な場合には、ホウサン軟膏を綿につけて、寢るとき鼻の中へさしこんでおくか、柔かい筆などにつけて塗つておけば、なほつてしまひます。これからよくできる鼻の中のおできには、寢る前一プロセントのアク[illegible]軟膏を塗つておけばすぐなほつてしまひます。怪我したときに絆創膏をつけるとかへつて膿をもちなんにもなりません。吸入には食鹽水を使つてもよければ、重曹を使つてもよい。以上の藥は應急手當用として常に家庭に備へつけておく樣にしたいものと思ひます。

本紙特約連載漫畫 ガラムシャおピー　倉金良行

オヤ コノウマニハ タヅナガナイ カラノレナイナァ
オヤオヤ ウッカリシタゾ
ソウソウ ナワヲヒロッテ タヅナノカワリ
ナンダカ ヘンダナ
タヌコウ ショウタイ アラワセッ
エッヘン
ゴカンベン ゴカンベン
アッパー アッパレ

スキー ③

開脚登り は狹い急な斜面でやる。兩スキーを交互に使つて斜面へ倒八字形を描き乍ら登るのである。スキーは強く内方に角付され杖は交互に體の後方雪面を強く突き體を押上げる樣にする。此時體を前傾し、膝を折る事はいふ迄もない。斜面が急な程兩スキー前端を擴げる

階段登り は斜面を右横又は左横に置き、階子段に上る要領で一歩宛登る。スキーは双方山側に角付する。

制動―色々の方法がありますが、茲ではスノウ・プラウを説明致します。先づ双脚を延した儘、體を前傾し、平踏のまゝ、双踵を外方に押擴げ、スキーを八字形にする。此時兩足首は心持外方に曲がる。次に兩スキーを内方に角付する（スキー滑面の内側稜を雪中に押込むこと）或は此二を同時にすれば制動の目的を達し得る。時には片足だけスノウ・プラウをすることもあります。前者を全制動、後者を半制動と謂ひます。

全制動廻轉 アールベルグスキー術の基本動作である。ステムボーゲン及ステムクリスチヤニアの基礎である。兩スキー平踏全制動の形の儘、體重を左スキー上に移せば右方へ、右スキー上に移せば左方に廻轉する。即ち屈身前傾せるまゝ左杖リングで雪面を押し、杖を中軸とし、スキーが最大傾斜線に來た時右杖リングを一寸と上げ、右肩を前出する氣持で體を廻せばスキーは左方へ廻轉する。

ステムボーゲン―斜滑降から半制動、次で全制動全制動廻轉、スキーが廻轉し終つた時内足スキーを輕い外稜角付で外足スキーの一歩前方に送出す氣持で引付け斜滑降姿勢となる。

滑降用蠟―獨逸メルク會社製軟質パラフイン（融解點38乃至42）が最もよい。先づスキー滑面の水分を拭ひ去り、アイロン又はバラを適度に熱し蠟を溶かし乍らスキー尖端からテールの方へ流し更にアイロン等で之を平らに延し、布片でよく磨いてテラテラする樣にし、三十分以上冷所に放置する。スキーの溝や側面につけてはいけない。

登降兩用蠟 スキー滑走といふてもスキーの木部で滑るので無い。スキーと雪との間にはワックスが在ると謂はれてゐる。色々の蠟があるが、我邦で最も多く使はれてゐるのは諾威のオストビウ會社製の蠟である。水氣のない粉雪即ち手に握つても固まらぬ雪にはミックスがよく、水分の多い降りたての即ち手に握ると固まる雪にはメイデアムがよく、手に握れば水滴が落ちる位の雪にはクリスターレがよい。春先に多いザラメ雪にはスカレがよい。塗蠟法の研究は最近著しく進歩してゐる。詳細は先輩に親しく問ふか自己の經驗にまつがよい。要するに色々のワックスを使ひ迷ふより同一系統のもの少數を使ひこなす方がよいとされてゐます。（完）

ラヂオ けふの番組
【M・T・C・Y 新京放送局】三十日（火曜日）

朝

六、五五 ニユース（東京）
七、〇〇 ラヂオ體操・入港のお知らせ（大連）
七、二〇 中等滿洲語講座（大連） 講師 秩父固太郎
七、四五 朝の音樂（大連）
八、二〇 氣象通報
八、四五 建國體操
九、〇五 經濟市況（東京）
九、三〇 經濟市況（東京）
一〇、〇〇 家庭講座 日清戰爭時代の北京 高洲太助
一〇、二五 料理獻立
一〇、三五 家庭メモ
一〇、四〇 經濟市況（大連・新京）
一一、三五 經濟市況（大連）

晝

一一、四〇 經濟市況（東京）
一一、五九 時報（東京）
〇、〇一 晝の演藝 民謠 獨唱 高杉雅志 伴奏 新京サロンオーケストラ
一、港をどり 野口雨情作詩 中山晋平作曲
二、木挽唄 林柳波作詩 宮原禎次作曲
三、河原菜種 濱田廣介作詩 草川信作曲
四、雀どこゆく 北原白秋作詩 小松耕輔作曲
五、漁り歌 藤田健次作詩 小松平五郎作曲
六、江戸祭の唄 野口雨情作詩 本居長世作曲
〇、三〇 ニユース（東京・新京）
一、〇〇 經濟市況（大連・新京）
三、〇〇 經濟市況（大連・新京）
三、四〇 經濟市況（東京）
四、〇〇 ニユース（東京）
ニユース・氣象通報（新京）

夜

四、四〇 經濟市況（大連・新京）
五、二〇 ニユース・演藝（鮮語）
六、〇〇 子供の時間 童話 片目の又吉 原新太郎
六、二〇 コドモの新聞（東京）
六、二五 講演（東京） 科學界のトピック 工學博士 龜山直人
七、〇〇 ニユース（東京） ニユース・告知事項・番組豫告（新京）
七、三〇 講演（天津より）
八、〇〇 漫談（東京） 井口靜波
八、三〇 （東京）＝未定＝
八、五〇 浪花節（東京） 大岡政談孝子富藏 木村友信
九、二九 時報・ニユース・ニユース解說（東京） ニユース・氣象通報・告知事項・番組豫告（新京）
一〇、二〇 ニユース再放送
アナウンサー 宮岡 野村

高杉雅志さんの 民謠六つ
新京サロンオーケストラ伴奏
（〇・〇一後）

雀をどり
北原白秋作詞 中山晋平作曲

雀、雀とおとしめとやんな、どうせしがない雀ぢやとてもえ、せめて唄はにやこの日がたたぬ ありやせ、こりやせ、ありやんくく

せめて唄うたら日は稼たうけれど 一羽一羽さみしゆてならぬ、連れ衆よびたや誰かほしや ありやせ、こりやせ、ありやんくく

木挽唄
林柳波作詞 宮原禎次作曲

晴れた青空紫紺の山に今日も笹の陽の光ササ、ホイノホイ

日光嵐が吹かうとまゝよおらは薬師で山かせぎ アヤレコラ、ドッコイ、ヨイトコズイズイ

木挽ゃ木をきる山家のすまゐのんきのんきと言ふけれど、ササ、ホイノホイ

河原菜種
濱田廣介作詞 草川信作曲

女房子供は麓の村よ暮れりやちらちら灯がまねく アヤレコラ、ドッコイ、ヨイトコズイズイ

だれがまいたかサラサラ種を背戸の河原に菜の花が ヤレン、ヤレヤレ菜に花が

だれもまくまいサラサラ種を背戸の河原は川だもの ヤレン、ヤレヤレ河だもの

川の中でも中洲があれば種はこぼれるどこからか ヤレン、ヤレヤレどこからか

そこで河原の中洲のなかに咲いた菜種は花ざかり ヤレン、ヤレヤレ花ざかり

雀どこゆく
北原白秋作詞 小松耕輔作曲

雀どこゆくどこゆきなさる チユンカラチユンくく

あの山越えますあのお山 チユンカラチユンくく

旅をする氣かつらいぞ旅は チユンカラチユンくく いくらつらくも行かねばならぬ チユンカラチユンくく

わしのお母はあの旅雀 チユンカラチユンくく どこの果まで探さにやならぬ チユンカラチユンくく

漁り歌
藤田健次作詞 小松平五郎作曲

月の潮騷しぶきにぬれてよ かもめや小河童衆の船さまもくる

そりや荒灘かせぎの漁り船 月夜荒波灘漕ぐとても、よ かもめや小河童衆の潮さきみだす

そりや行手大灘果がない

江戸祭りの唄
野口雨情作詞 本居長世作曲

江戸祭ヨイヨイくく 江戸の生粋神田の祭 わたしや神田の唄人よ唄人よ

江戸祭ヨイヨイくく 江戸天王の氏神樣は 今日のおみやげ笹だんご笹だんご

江戸祭りヨイヨイくく

大岡政談 孝子富藏
木村友信さんの浪曲
（后・八・五〇）（東京）

木村友信さん……

世の中は月、雪、花にほとゝぎす、四季の眺めは變れども、いつも變らぬ大和武士

日光街道さつて宿杉戸屋富右衛門の一子富藏が七歳の折に疱瘡に罹つて、生れもつかぬ盲目となり、仕方がなく江戸は日本橋長谷川町按摩鍼醫の師匠、吉村大貫の弟子となつたが、師匠は風邪が因で死んだ、富藏はその家の養子となり名前を大富と改めた。義理の母に孝行を盡し、夜は道樂で義太夫の師匠竹本長尾太夫のもとに通つて、その日その日を樂しく過してゐたが、さて世の中はまゝならぬ月に叢雲花に風、時しも享保三年七月二十三日、富藏の實母おたみが訪ねて來た。彼は母にすぐ遇ひたかつたが義母の手前はやる心を抑へて靜かに母の前に手をつけば、母は泣き乍ら、彼の父富右衛門は國屋殺しの無實の罪で南奉行に差廻されたと語るを聞き、富藏は杖を頼りに數寄屋橋、越前樣役宅へ、天下の法度差越し願ひ致しまして、父親の無實の掛合致しまする。明くる八月十五日、東海道神奈川宿・大黒屋で國屋殺しの眞の惡人鮭倉重四郎を見出す、孝子富藏の苦心談。

銃後錄

◇北支、上海戰線に活躍する將兵の家庭を守れの聲が、到るところで聞かれる。

◇こんな時に、これら將兵の先頭に立つていつも全軍を指揮する勇猛部隊長の方々の家庭にはどんなにか緊張した朝夕が送られてゐることであらうか――。

◇それらの報告を代表するやうに、婦人倶樂部では、各部隊長夫人の中東京の方々のお集りを願つて、座談會を開催したが、その模樣が十二月號に發表されて、追がはわれらの、各部隊長夫人方の感を深うせしめてゐる。

◇この記事は、そのまゝ銃後を守る各家庭への餞けともならうし、また參集の各夫人方より全日本國民へ、將兵家族の感謝の言葉を代表したものとも取れぬことはないのである。

◇婦人倶樂部此號には、陸海軍省より、出征遺族へ特別の注意も、前項に記載されてゐるが、銃後婦人の力草ともなるべき婦人雜誌として、その内容には、見落し得ぬものが少くないのは、喜ばしいことである。

木綿物を着るは贅澤

◇或は街頭の千人針、或は津々浦々の國防獻金と、銃後の熱誠はまことに涙ぐましいものであるが、此際更に國民擧つて實行しなければならぬのは、家庭に於ける消費節約といふことである。

◇ところが、この消費節約といふことが、極めて簡單のやうに見えて實は頗る難しいばかりでなく、隨分誤解を生じ易い。

◇例へば三度の飯を二度にし三杯の食事を二杯にする。これでは國民保健の上からみて決して適當でない。酒やビールを飲まないことにする。これはその精神は充分肯かれるが、經濟上からいへば無意義なことである。絹物をやめて木綿を用ひる。これは却つて節約のはき違ひである。木綿物をこそ節約しなければならぬ。

◇では、何が眞の消費節約であるか？これに就て、大藏大臣賀屋興宣氏は『國民協力の目標は何か』と題する一篇を、『現代』十二月號に寄せられてゐるが、これこそ國民必讀の名篇であると、專らの評判。

學藝

滿洲映畫 女優讀本 (二)

滿洲映畫協會 近藤伊與吉

それから最近までドイツにアレキサンダー・モイッシといふ名優が生きてゐた、この男は前記のサラ・ベルナールなどゝは異つて純藝術派の俳優で、近代演劇の父と呼ばれる名舞臺監督マックス・ラインハルトの統ゆるベルリン劇場の專屬俳優なのであつたがモイッシの近代的な鋭い藝風は、遠く東洋の涯にまで傳はり、私などもこの人の演技記録に刺戟されて俳優になつたのである

歐洲大戰が始つた時愛國心に燃えてゐるアレキサンダー・モイッシは

ドイツ帝國は俳優である、お前までもが鐵砲擔いで飛出さなくてもいゝのであると皆が止めるに拘らず、敢然として義勇兵を志願して砲煙彈雨の第一線に進んだのであつた、ところが承知の通り西部戰線は佛獨對峙の長期塹壕戰になつたので何處をどういふ風にして傳はつたものか、この向ふ側のドイツ塹壕にはあの有名な名優アレキサンダー・モイッシが居るんだといふことが知れて誰言ふとなくモイッシは憎い敵のドイツ兵であつても藝術家としては世界の至寶、吾等のモイッシなんだからうつかり彼處へ鐵砲を射つて若しもモイッシに當つたりしては大變だといつて藝術好きのフランス兵が遠慮してしまつたので、フランス軍の作戰本部では大變困つたといふ話である

是はちよつと聞くと嘘のやうな話に思ふだらうが、當時日本の新聞に西部戰線異聞ありとしてパリ特電が傳へてゐたり、その後十年程過ぎてドイツで發行された演藝雜誌に掲載されてゐるのを讀んだこともあるから滿更の作り話ではないと信じてゐる、この人も惜しいことには昨年オーストリーのウキーンの街の裏長屋で哀れな死に方をしたさうだが、日本の新聞は知つてか知らないでか

元ベルリン劇場專屬俳優アレキサンダー・モイッシ、昨曉ウキーン市において死す

とたつた三行で片付けてあつた

諸君は後藤新平といふ人を知つて居ますか皆知つてゐる滿洲に居る人々は敢て日本人に限らず皆この人を知つて置かなければ不可ない、この人はかつて日本に於る偉大なる政治家であつたばかりでなく滿洲開拓の第一線に立つて數へ切れぬ大きな仕事を織けて來てゐる滿鐵の第一代の總裁であつた方だ、この人が最初に滿鐵總裁として乘込んで來てあの尨大な計畫を樹てなかつたならば、或は諸君も滿洲で映畫を製作するなんて結構至極た運命になつてゐなかつたかも知れないと思ふのだだから滿洲映畫の恩人としても、社會人の常識としても後藤新平さんの名前とその行績ぐらゐ知つて置かなければ滿洲國の文化を背負つて立つ映畫藝術家とはいへないね!

この後藤さんが色々な要件を帶びられて可成り以前にアメリカへ渡られたことがあつた、首都ワシントン市の白堊館で時の大統領を訪ねて色々な歡談を交へてゐた際、後藤さんが

「……時に、例の西部海岸方面における問題ですがね……」

と日米親善の核心に觸れやうとすると、大統領はなんと思つたか

「ちよつと待つて下さいミスター後藤、私は貴方からその話を伺ふに先立つて貴方はこちらへ來られる以前に、早川雪洲に會つて來られたか否かといふことを伺つて置きたいのですが?…」

と訊ねたさうである

「早川雪洲」

「然り、世界で有名なニッポンの映畫俳優早川雪洲」

大政治家の後藤さんは餘り映畫俳優のことなんかに關心を抱いてゐなかつたので、この時になつて初めて早川雪洲のことを思出されたらしいのである

「私は日本の偉大なる政治家であられる貴方と、日米親善の外交問題について自由會話をするに先立つて、貴方が米國における日本の私設國民代表セッシュウ・ハヤカワとこの問題に就て會談されたか否かを確めて置きたいのです」

と大統領が言はれたさうである

この話は私は當時後藤閣下に隨行された秘書から親しく聽いたのであつて、たゞ坊間に傳はるやうに、さう訊かれた後藤さんが

「私は彼にはまだ會つて居ない」

と答へ、大統領が

「それならば、この問題に就ては彼と會つてから以後のことにして貰ひたい」

と註文を出したので、大腹中の後藤さんが改めてハリウッドへ引返へして、早川雪洲と會談を交へ、それから改めて白堊館を訪れたといふことが眞實であるか否かを確めて置かなかつた、或は後藤さんはアメリカ大陸上陸第一歩にハリウッドを訪ねてからワシントンへ行つたのか、歸朝の途徒然なるまゝにハリウッドでスタヂオを見物したのか、その所甚だ分明を缺いたが、ハリウッドのスタヂオの前で顔鬚美しいこの偉大なる政治家と下頭の剃れた美丈夫早川雪洲とが握手してゐる有名な寫眞を私も一枚保有してゐる

大統領が一映畫俳優の意見を聽けといはぬばかりの態度は如何にもアメリカ臭い話であるが、人氣ある映畫俳優の言動は、それ程に影響力あるものであることに想到した時諸君の今後の使命と責任とが如何に重大なものであるかゞ判るであらうと思ふ【カット上から林麗、呂露霞】

洋燈

林一夫

長歌一首

ぶらたなす 路の備の 人備に 生ひ立つ子らは 夢にだに 知らぬものかも 天離る 鄙にしあれど 聞き傳へ 忘れてあれば しみじみと 未だも見ぬに こは何ぞ 今のうつつに 齎せし 燒酒作る 村長の 殿の若子が 手に提げし ランプの光を しかすがに 街の子われは うれしみて 炕に焚く火の 高粱の 煤にすすけし 幾代なす 梁にし吊れば うばたまの 闇は闢けて ほのほのと ものの文色も はろはろと われの想ひも 一つ灯の 耳らふ隈に 一つ灯の 壓れる胸に 浮き出でて 今宵の宿を 懷しむ 寄處となれば しまらくは 炕に敷きたる あんぺらの きそのままなる 火の消えし 床に腰掛け 尻の下 冷ゆる思はず 討伐の 疲れも知らに 凝視めゐるかも

反歌

今もかも踊りはすらんシャンデリア燦立ちたち旋りめぐりて

古いタイプ

バクゲキ

芹澤光治良「菊の花章」(改造十二月號)

これは夫婦で外國滯在中に病み漸く癒え歸國した妻がそれから起る弟の出征、夫の病死等に面するといふ顚末を自ら書き綴つた體裁の小説である。冷嚴なまでにリアルを摑まうとする作者の精神が、これらの異常な出來事を叙しつゝ溢れてゐるのが注目される。いかにも事變下の小説であると言へやう。しかし、やむを得ない所ではあらうが、この女主人公の生活、思想すべてが、つひに一つの家庭の埒内にとどまつてゐるが故に、この小説自體も一篇の心境小説として大きな地位は占め得られないと思はれるのである。日本の家庭といふものへの批判はある。だがそれはもう「ノラ」が日本に移植された頃以來あまりにも語られ盡きてゐるものではないか。まさにこの作にあるやうな事實は實際に存してゐるのであらうが、それにしても悲劇の女といふタイプがすでにこの場合には型にはまり込んでゐることを知るのである。(御垣衛士)

短歌的斷片

稻垣輝安

(1)

滿洲歌壇確立―「合朋」第十卷第十號の「秋風立つ日の記」の中で私は「兎に角、この胎動(岡二郎氏の言葉)といひ、轉換といふのも、畢竟何からごめき、活氣だつて來た歌壇自體が言はしめる言葉であるのだ。この動きは一つの運動の形態を求めるものであるのだ。又さうあらねばならぬ。中略、滿洲全體、運動方向で、即ち、それは滿洲歌壇確立運動なのである。滿洲歌壇の內地歌壇よりの隔離確立、滿洲の現實に根を下ろして、內地歌壇の亞流を排擊して滿洲歌壇自體の運動の甚礎探求なのである。」と述べたがこれは決して私ばかりの偏見的言説でもないし、又突然考へついた即興的言説でもないのである。岡二郎氏は「大連公論」で滿洲歌壇のこの頃胎動して來たこと、何か蠢動しだしたことを「合朋」と「アカシヤ」に就いて指摘して言つた、私も拙稿を「新京」に寄せてそれを指摘し、それは滿洲の歌人の短歌的意欲の一つの現れであり內地よりの移住歌人がこれらと歩調を合せて進む時は必ず來るし、その時は素晴らしい滿洲歌壇の黄金時代が來るのだと述べたが、「北滿歌人」の情熱的努力等合せみてこれら胎動は滿洲歌壇の大きな飛躍とみてよろしい。併し乍らそれは飽く迄時代的意欲の一つのあらはれの程度に過ぎなく、滿洲事變や滿洲國の躍進的建設や今回の支那事變と其の後に來るもの國際關係の新動向等の環境的影響によりむしろ當然のものと言はなければならぬだらう即ち未だ、明確な何人も引きつける滿洲歌壇の行く可き方向と形態は打ちたてられてはゐないのである。むしろ現象の胎動はこの方向、形態を求めんとする模索的胎動であるとみる可きが至當であるだが、そろそろ歌人は滿洲歌壇とそこに生れてくる作品をいかにす可きやの曙光の一部でも見極はめねばならない時期ではたからうかと私は思ふ。

滿洲歌壇を强度ならしめる人的、團體的要素は少ないとしても私は內地歌壇よりの滿洲歌壇隔離確立と滿洲歌人は滿洲の現實の中から歌壇的問題をとりあげて滿洲歌壇の獨自的運動を爲さねばならぬと思ふものである。かくいふと或ひは滿洲に於て我々は現實に生活してゐるのだから唯歌つてゐればそれは即ち滿洲に於ける短歌であるからそれでよいではないかといふ人が居るかも知れないが、私はさういふ自然發生的な、無自覺な消極的態度に飽きたらなさを感じるのである。

(2)

滿洲歌壇―今こゝに私は歌壇といふ言葉を使用するのであるが、滿洲歌壇に於ける歌壇の概念は內地に於けるそれではないといふことを强調しようとするのが目的である。滿洲歌壇といふ言葉は文壇、詩壇などの言葉が使用せられるのであるから使用するのであるが、滿洲歌壇の概念は內地歌壇のそれであつてはならないこゝから出發して私は未だ未だ發見し建設整理しなければならぬ問題があらうと思ふがこゝの具體的な説明は他日を期して稿をおこさう。

書架

本欄紹介を望の新刊は本社編輯局宛一部お送り附柏坂… (係)

△國民法律顧問(十一月號) 竹下正雄「時效の話」森時宣「帶書の法律學講座」友次壽太郎「判例から見た法律の實際問題」その他誌上鑑定室、法律用語解、法廷餘錄、法律漫談等わかり易く法律知識を説いたものである(東京市荒川區尾久町五ノ一一八一、國民法律顧問會、五十錢)

△滿洲鑛業協會會報(十一月號) 鳥羽信次「察哈爾盟內石炭鑛業概況」赤瀬川生「蒙古鑛物抄」「鑛業出願の栞」法規、鑛業處理事項、統計寄書、鑛業時報、協會記事等を盛る(新京興安大路五二四、滿洲鑛業協會、五角)

新發賣

大學十錢家庭藥

どれでも一個＝正價十錢

藥はかく安くなければならぬ

大衆生活に於ける大なる脅威は、病氣の醫療費乃至藥價の過重なる負擔である。今日、國民の體位向上、或は醫療國策の聲澎湃として起る時、我社は率先、大衆醫療費の大輕減を目指し、實に從來藥價の半値にも當らざる超廉價を以て「大學十錢家庭藥」を發賣す

先づ手にとつて見られよ！「確かに安い」と頷かるべし　更に用ひて効果を見られよ！一層その安さをハツキリと知らるべし

こんなにヨクきく藥が
ナゼ安い？

1 藥學博士大谷文昭氏始め多數學徒の眞摯なる研究に基き
2 科學的生産設備と最新の機械能力を發揮する大工場により
3 合理化せる大量生産と統制配給による經費の節減！
4 これらの綜合結晶と醫療費低減の意圖による最低價であります

病氣に應じて二十種アリ

●お腹の病氣には　大學胃腸散　大學胃腸錠　大學下剤　大學下痢止
●虫下しには　大學驅虫錠
●痛み止めには　大學頭痛錠　大學歯痛錠　大學腹痛錠
●かぜ引きには　大學感胃錠　大學せき止
●懐中藥には　大學清涼剤
●外用藥には　大學皮膚藥　大學外傷藥　大學痔疾膏　大學水虫液　大學メンソールクリーム
●婦人の病氣には　大學婦人藥
●子供の病氣には　大學奇應丸　大學小兒かぜ藥　大學小兒せき止シロツプ

タッタ十錢　市價の半値

大阪北濱　大學眼藥本舗
發賣　參天堂株式會社

眼藥は大學！

大學眼藥

一瓶ごとに「大學洗眼藥」添附

大學は一劑で三つの効果

1 眼病を治す
2 目を強く美しくする
3 紫外線の害を防ぐ

（大學獨得・紫外線防止藥 特許製劑ウルビオレギン配劑）

本邦唯一近代優秀眼科藥

大學眼藥は最新の眼科醫學に基き強力な殺菌・防腐・收斂作用を有するために病菌を殺滅し炎症充血を快く去り創面を整へる等治癒効力著しく　大學洗眼藥を併せ用ふる時は一層回復を速くします　また健眼の場合でも大學眼藥を毎朝用ふれば砂塵煤煙等より受ける障害を防ぎ仕事や讀書の目疲れを治し　眼病豫防と視力の強化と美眼工作と一石三鳥の効果を上げ得ます

―適應症―

結膜炎　角膜炎　麥粒腫　ほし目　爛り目　疲れ目　血目　雪目　光線眼炎　トラホーム　やに目　打ち目　はやり目　なみだ目　たゞれ目　かすみ目

定價

目藥と大學洗眼藥二種一函入の定價

ケースなし
- 小瓶　二十錢
- 中瓶　三十錢
- 大瓶　五十錢
- 小兒用　二十錢

ケース付
- 一瓶入　三十錢
- 二瓶入（ケースは一個）　五十錢
- 補充用特大瓶付（〃）　一圓

大學洗眼藥（別に御入用の場合）
- 十錠　十錢
- 廿一錠　二十錢

大阪北濱
參天堂株式會社

あす全面的治廢へ
關東局管下官民に對する
植田全權大使聲明

本月五日滿洲國に於ける治外法權の撤廢及南滿洲鐵道附屬地行政權の移讓に關する日本國滿洲國間條約の調印を了し明十二月一日を期し之が實施を見んとす是實に滿洲國をして不可分の關係を持しつつ獨立國としての健全なる發達を遂げしめ日滿一體となりて東亞の安定を確保し大義を宇內に顯揚せんとする帝國不動の對滿國策の顯現に外ならず、帝國政府は昭和十年八月治外法權の撤廢及移讓に關する根本方針を樹立し滿洲國に於ける制度及施設の整備充實に對應して撤廢及移讓を行はんが爲昭和十一年六月の條約に依り其の一部實施を見るに至れり爾來其の適正なる運用と在滿邦人の國策に對する遵奉の赤誠とに基き所期の成果を收めたり殊に滿洲國に於ける司法制度を初め警察、通信、課稅其の他各般の制度及施設は邦人の文化生活に適應する如く整備し國運隆々として興り日滿一德一心の關係愈々緊切を加へたるを以て玆に今回の條約の締結を見るに至り愈々明日を以て治外法權の全面的撤廢及附屬地行政權の完全なる移讓を實施するの時期に到達せり

時恰も支那事變に際會し暴戾支那は遂に慘禍の巷と化せるに滿洲國は國威燦として輝き居留民は欣然滿洲國の法權に服せんとす五族協和の建國の理想初めて全きを得たりと謂ふべく日滿兩國の爲慶祝に堪へざる所なり、滿洲國肇國以來僅に六星霜斯くの如き歷史的鴻業の實現を見るに至りたるは之偏に管下官民の多年に亘る一致努力と國策遂行に協力せられたる結果にして本使の衷心敬服措く能はざる所なり、然りと雖も此の大業の完成如何は全く本條約實施の成果に依るものと謂ふべし、希は管內住民各位は克く帝國對滿國策の眞義を體し渾然融洽協和し以て日滿一德一心の實を顯現せられんことを切望す

首都警察廳人事
股長級以上內定
移讓へ人的整備成る

首都警察廳警務科では治廢に伴ふ人事異動に關し種々打合せ中であつたが二十九日股長級以上を左の如く內定發表した、警尉、警尉補以下の異動も卅日中には決定され十二月一日附をもつて正式發令される

滿洲里警察廳長　宇野晉次

新京地方警察學校兼中央警察學校教授へ　新京警察署長　中島菊平

司法科長（理事官）へ　新京警察署　木內文三

警務股長兼警務科附（警正）へ　新京領警署　小澤壽雄

中央通警察署長（警正）へ　小崗子署　佐藤乙治

保安科附（警正）へ　滿鐵　橋岡三一

消防署長へ　治安部警務司　趙萬斌

保安科長（理事官）へ　瀋陽技正　馮布廉

衛生科長へ　治安部屬官　陳楓

寬城子署長（警正）へ　寧安縣警正兼牡丹江事務官　濱田秋二郎

四道街署長へ　哈爾濱警察廳警佐　松原淸次郎

大經路署長へ　近藤敏夫

警務科經理股監査（警佐）へ　反田昭

同督察股長（警佐）へ　松尾五四

特務科特高股長（警佐）へ　鵜木親三

司法科捜査股長（警佐）へ　本田正義

保安科風紀股長（警佐）へ　岡本秀雄

同交通股長（警佐）へ　原口一八

同衛生股長（警佐）へ　小島九兵衛

中央通署警務係主任（警佐）へ　岡田治衛

同保安係主任（警佐）へ

中央通署司法係主任（警佐）へ　土師四郎

大經路署警務係主任（警佐）へ　塔尾强

なほ右人事異動による轉出者は左の如くである

司法科長　上間辰雄

奉天警務廳刑事科長へ　警務股長　工藤安夫

同外事科長へ　大經路署長　淸水義直

復縣署長へ　保安科附、警正　渡利全策

綏中縣參事官へ　四道街署長　劉志格

中央警察學校教授へ　經理股長　胡承謙

奉天警察廳保安科長へ　衛生科長　郭良

四平街警察廳長へ

尙廳內だけの異動豫想としては特務科板野警佐が檢閱股長に村上捜査股長が防犯股長に神谷衛生股長が防疫股長に行くものとみられ、保安、衛生科長の轉出に伴ふ後任には警務司督察官趙萬斌氏が保安科長へ、奉天衛生科長馮布廉氏が衛生科長に來任する

特に邦人への留意
特務、司法陣强化
異動評

今次の首都警察廳異動の結果をみるに關東局より滿洲國入りした警佐十一名の內九名は本廳へ三名は管下各警察署勤めとし中堅所をがつちり固め比較的日本人居住者の多い大經路、中央通署には日系署長を配し治廢後といへども附屬地並に領警署管內の警察力の低下を來し日人居住者に不安を與へざる樣留意し、督察、特高股長に反田、松尾の新進氣鋭な日系を据ゑ、捜査股長に領警より老練鵜木氏を持つて來て、村上捜査股長を新設された防犯股長へと司法陣の完璧を期し治廢後の犯罪防止捜査に重點を置いてゐる、これを要するに日滿兩警察當局者が在住日本人に對し急激なる變化を與へまいとして如何に細心なる注意と苦心を拂つてゐるかが窺知される

惜しまれて去る人々

今回の治廢異動に依つて外部に轉出した科長級で唯一人の日系である上間司法科長（理事官）は本年七月の異動に依つて首都警察に任命されて來たもので在任期間は僅か五ヶ月の短期間ではあつたがその間村上捜査股長との名コンビに依り、南關管內の亭主殺し事件、寬城子の自衛團殺し事件、野菜畑の番人殺し、小合隆の辻强盜事件等の犯人を何れも疾風迅雷的に檢擧しそれに前任者から引繼いだ未檢擧事件四十件の內十件を解決、職業自衛團を義務自衛團に改組せしめる他、治廢前の司法組織內容の充實に盡力し愈よ治廢も十二月一日をもつて實施され、いざこれからといふときに奉天に榮轉することゝなつたもので各方面からその手腕を惜しまれてゐる、尙胡保安科長、渡利警正、郭衛生科長、工藤警正等も治廢實施前の首都警察廳の整備、充實滿警のレベル向上に功績尠からず何れも首都警察廳[illegible]史上に特筆さるべき人々であつた

安東警察廳長は
猪苗代氏

附屬地行政權移讓の結果警務機構の統一による人事の異動は一部廿九日次の如く發表された

命安東省公署警務廳特務科長　蘇島宣法

命安東警察廳長　猪苗代直躬

命安東警察廳地方科長　坂本義三

命安東警察廳警務科長　甲斐生政五

命安東警察廳衛生科長　劉東閣

命安東警察廳特務科長　本郷宗一

附屬地市民のため
市公署派出所
祝町衛生隊內に臨時開設

新京特別市公署では附屬地行政權接讓後における附屬地市民の便宜と市政事務の圓滑を期するため祝町衛生隊內に臨時綜合派出所を開設するが、取扱事項は次の通り

△財政處所管（管財科關係）一、公證　二、契稅　三、市有土地分讓　四、市有財產貸付　五、地籍整理　六、私有土地買（稅務科關係）一、移讓後の課稅　二、家屋新築、滅失屆　三、自動車、自轉車使用廢止屆　四、不動產取得　五、觀覽捐　六、遊興捐　七、納稅すべき箇所　八、移讓前後負擔の比較對照

△行政處所管（教育科關係）一、兒童（日本）入退學願出　二、中等學校入退轉入手續　三、各學校授業料　四、日人以外者の日人學校入學　五、私立學校　六、神社（結婚地鎭祭等）（行政科關係）一、町內會　二、保甲制度設置　三、貧民救濟　四、居住退去屆　五、出生屆、死亡屆　六、無料宿泊所、職業紹介所　七、公設市場　八、婚屆結出

△衛生處所管　一、汚物、塵芥處理　二、傳染病發生の際の處理方法　三、產後汚物の處理　四、建築場殘物處理　五、火葬場使用　六、公墓地使用　七、施療ならびに行路病者の取扱　八、臨時種痘　九、狂犬病　十、接客業者の健康診斷

△工務處所管（建築科關係）一、建築許可出願（土木科關係）一、通路占用　二、下水道破損せる際の處置　三、下水掃除　四、荷馬車通行道路　五、道路上降雪の處理（水道科關係）一、水道修理　二、水道料並に同納入方法　三、水道敷設出願　四、水道給水、排水

營業諸取締規則
一日實施

治安部では市民の日常生活に最も關係深い營業につきこれが取締の適正を期するため卅日附をもつて左の諸件を公布し十二月一日より實施することゝなつた

古物商取締規則、紹介業取締規則、仲介業取締規則、興業場及び興業取締規則、藝妓置屋取締規則、特殊飲食店、女給取締規則、料理屋取締規則、下宿取締規則、飲食店取締規則、湯屋取締規則、藝妓、酌婦取締規則、戲場取締規則、舞踏場、舞踏手取締規則

稅金納入取扱所
十箇所增設

新京特別市公署では附屬地行政權接讓後諸稅金の納入に對しては市民の便宜を考へ、市公署の外左の十ヶ所で取扱ふことになつた

興業銀行南廣場支行、中央郵局、關東軍司令部內郵局、八島通郵局、敷島通郵局、興頭道溝郵局、曙町郵局、興安通郵局、三笠町郵局、日本橋通郵局

新しい年の飛躍へ
國婦非常時体制
三則を全會員に徹底

國防婦人會新京支部では十二月二日結成式をあげるカフエー組合女給軍によつてなる朝日分會を加へて會員數は遂に七千名に達し昨年末の四千二百八十名に比する時偉大なる躍進を示してゐるが愈よ本年度納決算の十二月を迎へるに當り現在の覺悟を崩すこと無く新春に臨む爲め左記國婦非常時體制三則を制定全會員に呼掛けた

一、衣服の新調を控へませう

二、戰捷しても結果を負けぬ覺悟で最終まで頑張りませう

三、婦人の協力の互體で國難解決にあたりませう

しかして右三則を實行非常時經濟を乘切ると共に本年度事業の決算をなす爲めに現在幾つてゐる蒐集品の整理を鋭意行つてゐるが、その結果を見るに三月より始められた煙草チヨコレートの銀紙、煉齒磨の空チユーブは二百貫を突破してゐて此の賣上代金は軍警慰問費に充てられることになつてゐる、次に從來無雜作に捨てられてゐた煙草吸殼はニコチン摘取に依り資源を生み分會の基金としてゐるがこれは現在十六袋保管中で近く賣却することと決定してゐる、最近より始められた屑鐵空罐等の金屬類はまだ僅かであるが再製毛布は現在まで關東軍に獻納せられた數約三百枚であつて關東軍では將兵の身を護るものとして千人針の幾十倍にも役立つと感激してその輸送には特に航空便にて二回にわたり北支に直送したので本年中にもう一度とばかりに目下鋭意編みつゝある

中島警視等
昨夜ひかりで着京

去る二十四日付を以て沖田警視の後を次いで新京署最後の署長として就任する中島菊平警視は鄕里の母堂危篤の報に急遽歸省したが廿九日午後十時着の〝ひかり〟で署員多數の出迎へ裡に着任した、氏は警察權移讓と共に十二月一日を期して首都警察廳司法科長の椅子を約束されてゐるもので新京署長としては一週間、實質的に署長の椅子に坐るのは廢廳の日卅日一日と言ふ珍記錄を殘す署長でもある、氏は驛頭で語る

「母が危篤で歸省したため赴任が遲くなつた、母の病氣も尙危險でこゝ二三日の壽命ではないかと思はれるが時節柄いつまでも止まることが出來ないのでやつて來た、せめて一目會ひ母も非常に喜んでくれたので心殘りなく來ることが出來た今着いたばかりで何も言ふことはない」

この時出迎への人々に早く來るる日の榮轉に對する祝辭を浴びせかけられ

「署長として就任の挨拶と袂別の辭と一緒に述べることになるかな―」

と二十幾貫の巨軀に呵々大笑した、尙新京署改稱後の中央通警察署初代署長と內定してゐる元安東警務主任小澤壽雄警視は中島警視と共に來京したが

「田舍者でこの大都會にひつぱり出されると何が何やらさつぱり判らない、これからしつかり勉強するつもりだよろしくお願ひする」

と驛頭に多くを語らず笑つた

三千有餘の大世帶警察官を無事に滿洲國入りせしめた總元締警務部警務主任池田警視はこゝ一ヶ月不眠不休頑張り續けた▼側らの人達は『責任のある身であるからでもあらうがよく頑張つたものだ』と感嘆久しうしてゐる▼それかあらぬか氏獨特の光頭もこの雜事業を見事完了して一層鮮やかな光りを見せた感がある▼來るべき滿洲國入りの日再び人事方面の元締に治まるとか世帶はさらに大きくなつた、さえた腕冴さえた頭の光はさらに光澤を增すことであらう

海外貿易振興會
中村氏來京

政府助成團體である海外貿易振興會では理事長中村嘉壽、日大教授關田茂、小原國義氏等を米國に派遣して日本の現狀と眞意を說くことに決定、中村嘉壽氏は調査の爲め二十九日午後空路來京ヤマトホテルに入り直ちに田邊參議、大滿外務局長官等と會見北滿の詳細なる現狀の說明を受けたが氏はニユーヨーク大學出身で長らく米國に居住してゐただけに米國の事情に詳しく左の如く語つた

本年中には米國へ出發する爲急いでゐるので明日出發北支及び上海の視察に向ふ近衛首相の弟が音樂家として渡米外交戰において日本完全に敗北せりと叫んでゐるのは至極同感である、幾多の國民使節が行つてゐるが、短期間に講演旅行をした所で成功する筈が絕對無い、こちらから積極的に日本を辯明した所で米人が聞く筈が無い、私達は會の事業である每年東京と輕井澤に開いてゐる東洋文化夏季大學の宣傳位する積りで行つて、先方から質問が來て受身になつた時に大いに言ひたいことを述べて効果をあげる事にする、その點私は米國に多數の知己があるから好都合であるが、相當時日を要するから半年、事變が永引けば來年一年でも滯在することにしてゐる

滿鐵附屬地卅年史
事變と兒童の影響（二三）
保護者會創立（室町校沿革その七）

動亂革命事變と兒童への影響

學校創立以來淸國動亂事變等に依つて影響を受けたものは日支交涉問題、寬城子事變、西伯利亞出兵、張郭の亂、滿洲事變であつた

（日支交涉問題）大正四年五月　右問題の爲學校としては時局切迫し御眞影及勅語謄本を本社に奉還し尋五以上の男兒をもつて少年義勇團を編成した、尙之よりさき在住民義勇團が組織せられ男教員全部が加入したが何れもその實なくして自然消滅の結果となつた五月八日に至り前記の事情に付き一時學校は休業し邦人の大部分は內地引揚の準備をすることになつたが五月十三日となり交涉は圓滿に解決し授業も開始することになつた

（寬城子事件）大正八年七月十九日　寬城子に於ては日支兵衝突しその後九月下旬まで校舍の一部を臨時派遣兵站司令部の宿舍として徵發せられた

（西比利亞出兵）大正九年五月　九日西比利亞派遣砲兵隊（へ廣島）二百名來校し講室及び他の一教室に宿泊しその翌朝出發した、兒童は之等の出征兵士に對して慰問文を發送した

（張郭の亂）大正十四年十二月二十一日から一月十三日まで張郭戰切迫した爲內地より派遣せられたる當地警備軍隊の一部は校舍の一部を寢宿舍として使用した

（滿洲事變）昭和六年九月十八日事變突發するや九月廿一日早速五年以上の男子は飛行場造の手傳ひ高粱拔取り作業をなし尋五以上の女兒は病院、部隊に負傷兵の慰問をなし又十月中旬まで一週間交代にて「西廣場校と相談し」花の交換をした、尙事變と同時に本校講堂一部教室に宿泊して居た軍隊の慰問し展覽會を開き、或は古雜誌新聞綴方慰問文などを發送し又は皇軍の戰勝を神社に祈願する等小さい胸に赤い大和魂を躍らせた、以上述べた樣に度々の事件に際して校舍の一部を軍隊の宿舍として貸與し或は皇軍の奮戰、民國人の日本排擊等の爲め愛國心をそゝり立てられた事もあつたが兒童に精神的に最も國民的感激を與へたものは滿洲事變である兒童の軍隊に對しての作業奉仕又慰問等に於ける態度は實に涙ぐましいものがあり兒童が陸の生命線として滿洲に對しての眞の認識を深めたことも非常に大なるものがあつた

保護者會沿革

（沿革）▼明治四十一年十二月五日學校新築校舍竣工移轉の當日父兄會成立▼明治四十二年一月三日父兄會規約成案▼大正七年十二月八日一時中絕の姿であつた父兄會再興の議父兄間、有志に起り當日總會開催規約を改訂した▼大正十五年五月十八日總會を開催し第二小學校分離問題を附議し滿場一致可決玆に圓滿分立のことゝなつた▼大正十五年六月二日總會を開催し規約原案可決

（事業）一、同會は成立以來學校と家庭の密接なる聯絡を圖り、兒童教育の完成を期する爲に時々父兄總會、評議員會、保護者會或は母の會等を催して來た

尙ほ學校教育の後援事業としてなし來つた主なものを列擧すると▼大正四年御大典事業記念樹林として隣接校地二千二十坪に楊樹一千二百五十本を植付け內千本に對する苗木並に植付費として金二百圓を同會から寄贈した▼大正八年五月七日皇太子殿下御成年式拜賀式擧行の佳辰をトし豫て計畫中であつた兒童文庫の開設をした▼大正十三年五月體育奬勵の意味で優勝旗の寄贈をした▼最近の事業＝學校事業後援に於ても左記の如き大體の費目を設けその補助をなす事となり學校教育に貢獻する所が少くない（△兒童文庫費△體育奬勵費△「芽生」發行費△修學旅行補助費△映畫費△教材費」

天氣と氣溫

けふの天氣　北西の風晴
日の出　前七時五一分
日の入　後五時三分
月の出　前五時八分
月の入　後三時一五分
きのふの氣溫　最高零下六度三　最低零下十三度六

義人長七郎

（禁上演映畫化）中川雨之助
竹被一郎畫

（百十八）

無頼漢（四）

「宜しい、もう頼まぬ。拙者は拙者で、勝手に斬る！お先へ御免！」

無茶苦茶です。長七郎はスラリと抜いた。

直き近くに居た浪人の一人が、驚いて切先を向けて來た。

チャリン〳〵、それを相手に、白刃と白刃の光が二三合。空に閃いたかと思ふと、

「わッ」

浪人は片手に腕を押へて、ダダダと、尻込みします、血がタラタラと腕を彩りました。

「さりとは奇ッ怪、人の物を横取るは無法千萬！」

英之助も閉口ました。竹竿をかなぐり捨てると、これも一刀を抜いて、斬り結んだ。

ところが、旗本小十郎、段々か妙な助太刀の士に、チョイ〳〵面を撫つてゐたが、長七郎とは、早速に氣が付かない。といふのは、姿容が、すつかり無頼漢で大納言の若君らしい處が、微塵にしたくも無い。

「似た處はあるが、人違ひかな」

ぐらゐに思ひながら、油斷なく頭を振つて居ると、傍若無人の此奴同然、おまけに本物の英之助より先へ失敬して、味方の一人を斬つた。

小十郎「わッ」と驚くと同時に背筋がゾッと冷たくなつた。

「アッ、やつぱり長七郎殿だ。いまの手の中、あれは正しく夢想流の剣法！」

悪い奴だが、剣法に多少の心得もつ小十郎、早くもそれと見て取ると、相手が悪い。勝味は覺束なし、斬られてしまへば斬られ損、こいつは閉口々々して居られない……ゾッと身にしむ寒氣立。恥も外聞もありません。

「ソレッ、引揚げろッ！」

彼自身、先頭を切つて、白刃を縁に、スタコラ鬼子母神の森の方角へ一目散。

破る奴等、戦れ縺れじと、それに續いた。

「わッ」

と起る群衆の喊聲。誰が投げたか、二つ三つ小石が飛んで來ます。

怒つたのは英之助。闘中を、肩肘で硬ばらせ、ツカ〳〵と闊歩つた長七郎の前。

「餘計なお節介で、折角の樂しみをめちやめちやだ。この始末、どうして付けてくれるッ！」

「マアマアそんなに眞顔になるなよ。別に悪氣があつて仕たわけぢやない、あッはゝゝ」

ポンと肩を叩いて高笑ひ。いくら英之助が硬ばつてみたところで、長七郎てんで問題にいたしません。

考へてみると、物好きにしろ何にしろ、試しとみて加勢をしてくれた、見ず識らずのこの士の好意を無にする譯にも行きません。

と氣が付くと英之助も、矢鱈にプリ〳〵しても居られなくなりました。

しかし、江戸といふ土地は、隨分妙な士の居る處だ、と思ひました。

「貴公なかなか出來るなあ」

と、長七郎が賞めるのです。

「なあに、それ程でも無いさ。拙者より貴公こそ、素晴らしい腕前だぞ」

と、英之助も如才はありません。

既に群衆からバラバラ縁を、元の雑司ケ谷の方へ、二人は連れ立つて戻つて行くのです。

「このまゝ別れるのはあまりに名残り惜しい。どうだい、其に角一獻汲まうではないか」

長七郎、雑司ケ谷の里で立ち止まつて、誘ひました。